

## 家庭用自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯機

システム形名

コンパクト エコキュート **S**タイプ

〈一般地向け〉

SRT-S184 SRT-S184D

〈寒冷地向け〉

SRT-SK184 SRT-SK184D

エコキュート ライト **N**タイプ

〈一般地向け〉

SRT-N184 SRT-N184D

〈寒冷地向け〉

SRT-NK184 SRT-NK184D

※貯湯ユニットとヒートポンプユニットの形名を確認してください。

異なる組合せでは正しく動作しません。(33ページ「仕様表」参照)

※耐塩害仕様はシステム形名の末尾に「-BS」が付きます。

※リモコンは全機種別売です。(4ページ参照)

## 据付工事説明書

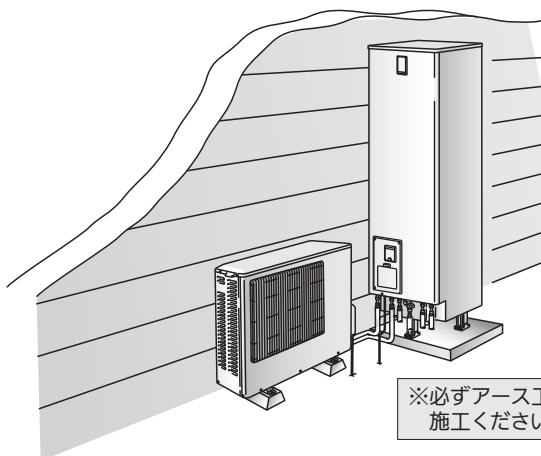
(販売店・工事店様用)

工事完了後、本書をお客様へお渡しください。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みください。

### お願い

- 販売店または専門業者が施工してください。
- 次の場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。
  - この説明書に記載されていない方法で工事された場合
  - 保証書と適合しない内容で工事された場合
  - 当社指定部品を使用せず工事された場合
- 製品、梱包材等を廃棄する際には、法令等に基づいた適切な処置をお願い致します。



※必ずアース工事を施工ください。

### 工事の前に

ページ

- 2 安全のために必ずお守りください
- 3 据付工事をされる方へ
- 4 工事に必要な部材
- 5 外形寸法図

### 据付工事

- 6 据付場所の選定
- 7 設置制約
- 8 ヒートポンプユニットの据付
- 9 貯湯ユニットの据付

### 配管工事

- 12 配管工事の前に(配管制約)
- 14 凍結防止工事
- 15 保温工事
- 16 階上(2、3階)給湯・階下給湯
- 18 樹脂管使用時の施工要領
- 18 ヒートポンプ配管工事
- 19 給水・給湯配管工事
- 20 ふろ配管工事

### 電気工事

- 21 電気工事
- 22 貯湯ユニットへの配線工事
- 23 ヒートポンプユニットへの配線工事
- 24 アース工事
 

アース工事は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの双方に必要です。
- 25 リモコン工事

### 工事完了確認

- 27 据付工事後の確認
- 27 試運転
- 32 お客様への説明
- 33 仕様
- 34 エラーコードと処置

裏表紙 扉ページを活用ください。

- チェックリスト
- 凍結による機器破損対策

# 安全のために必ずお守りください

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		接触禁止		指示に従う		アース線接続
---	----	---	------	---	-------	---	--------

**警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。

**準備と確認**

- 上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工してください。(配管破損による水漏れの原因)
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※1が施工し、必ず、専用回路を使用してください。(火災・感電の原因)

**設置**

- ヒートポンプユニットは屋内に設置しない(万一冷媒が漏れると酸素不足の原因)
- ガス類、引火物の近くに設置しない(発火の原因)
- 湿気の多い場所に設置しない(火災・感電の原因)

**工事**

**アースは確実に取り付ける(故障や漏電のときに感電の原因)**  
感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※1がD種接地工事をしてください。(ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの双方に必要です。)

**漏電遮断器の動作を確認する**  
(故障のまま使用すると漏電のときに感電の原因)

**電源線・電源通信線※2は、中間接続をせず、所定のケーブルを使用して確実に接続する(発熱して火災の原因)**  
※2.電源通信線は、より線を使用しない

**凍結防止ヒータの施工についての詳細は、凍結防止ヒータに同梱の説明書にしたがう**  
(電源コードや発熱体をねじったり、折り曲げたり、重ねて巻いたり、束ねたり、密着巻きをしたり、断線させたりすると、発火・火災の原因)

据付は質量に十分に耐える所に確実に(転倒や落下によるけがの原因)

当社指定部品を必ず使う(火災・感電・水漏れの原因)

※1.工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

**注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。

**工事**

- ヒートポンプユニットの吸込口やアルミフィンに触らない(けがの原因)
- 貯湯ユニットの脚をアンカーボルト、同梱のT型座金で固定する**  
2階以上に据付ける場合は、天部も上部振れ止め金具で固定する  
(地震などにより転倒し、けがの原因)
- 床面の防水・排水処理をする(水漏れによる損害の原因)
- 凍結防止対策をする(配管破損による水漏れ、やけどの原因)
- 工事作業中は手袋を着用する(着用しないとけがややけどの原因)
- アンカーボルトが壁内のラス網と電氣的に絶縁している状態で上部振れ止め金具を壁に固定する  
(絶縁していないと漏電のとき火災・感電の原因)
- 排水トラップを設ける(下水ガスが逆流して臭気が上がってきたり、貯湯ユニット及びヒートポンプユニット、配管が腐食し損傷や水漏れの原因)
- 間接排水工事を(タンクが破損し水漏れの原因)
- ヒートポンプ配管・継ぎ手部分は確実に保温工事を(保温材のはがれによるやけどの原因)
- シャワー給湯栓はサーモスタット付の湯水混合栓(逆止弁付)を使用する(やけどの原因)
- 屋外で開梱する場合は、風が当たらない安定した場所に仮置きする  
(強風によって製品が転倒し、けがの原因)

# 据付工事をされる方へ

- この製品は作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所には据え付けしないでください。また、各地区の騒音規制等に関する条例にしたがって設置してください。
- この製品は、単相200Vで動作します。
- この製品は、国土交通省告示第1447号(平成25年4月1日施行)に適合した設置工事が必要です。必ず、当社指定の据付工事をしてください。
- ご使用地域の最低気温を目安に、地域に合った機種をご使用ください。  
一般地向け機種:冬期の最低気温がマイナス10℃を下回らない地域  
寒冷地向け機種:冬期の最低気温がマイナス25℃を下回らない地域
- 臨海地域(塩害地)では、耐塩害仕様(形名の末尾に「-BS」が付くもの)をご使用ください。
- 屋内に据え付ける場合は、Dタイプをご使用ください。

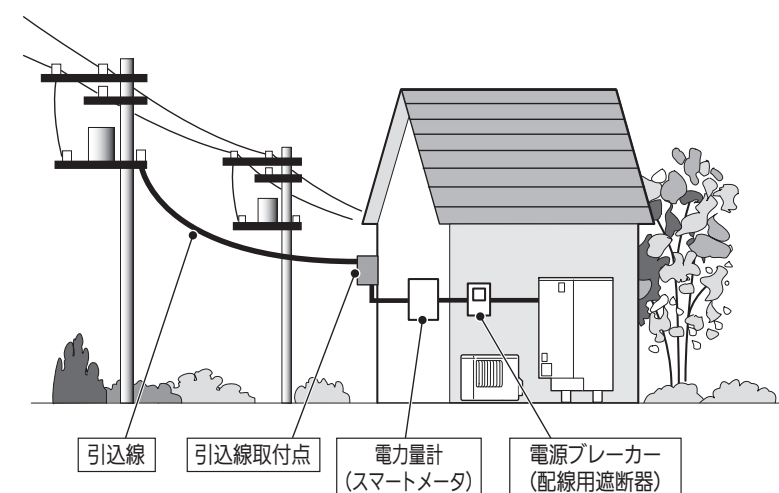
## 工事の流れ

標準的な工事例は以下のようになります。施工条件などにより手順が前後する場合があります。

- ガス給湯機から電気給湯機へ変更する際は、事前にガス事業者への連絡が必要です。ガス給湯機の無断撤去は法令により規制されています。
- この給湯機は通電制御型として電気料金の割引が適用されることがあります。※適用を受けるため、お客様からご契約の電力会社に申請いただくよう説明してください。買替えなどで機種変更した場合も電力会社へ申請が必要です。※詳細は電力会社へお問い合わせください。

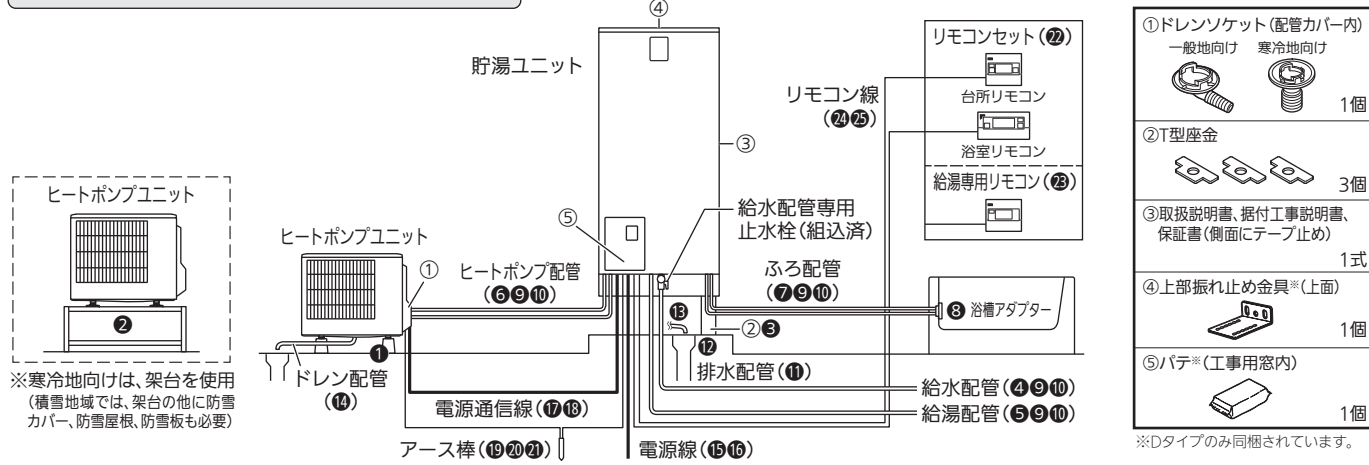
工事区分	担当	内容
<b>1</b> 電力会社への申請	工事店	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気使用申込書提出</li> <li>●施工証明書提出</li> <li>●引込線工事の日程調整</li> </ul>
<b>2</b> 配線工事	工事店	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引込線取付点から電力量計(スマートメータ)の配線工事</li> <li>●電力量計(スマートメータ)から電源ブレーカー(配線用遮断器)の配線工事</li> </ul>
<b>3</b> 引込線工事	電力会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電力量計(スマートメータ)交換</li> <li>●引込線工事(アンペアブレーカー交換)</li> </ul>
<b>4</b> 据付工事	工事店	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本書の内容 (工事の前に/据付工事/配管工事/電気工事/リモコン工事/工事完了確認)</li> </ul>
<b>5</b> 調査	電力会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●据付確認、漏電の検査など</li> </ul>
<b>6</b> 使用開始		

①・⑤の詳細についてはご契約の電力会社にお問い合わせください。  
②・③は施工場所の配線の状況などにより不要となる場合があります。



# 工事に必要な部材

## 給湯機本体同梱部品及び部材一覧



※寒冷地向けは、架台を使用  
(積雪地域では、架台の他に防雪  
カバー、防雪屋根、防雪板も必要)

- 同梱部品 ( )は同梱場所
- ①ドレンソケット (配管カバー内)  
一般地向け 寒冷地向け 1個
  - ②T型座金 3個
  - ③取扱説明書、据付工事説明書、  
保証書(側面にテープ止め) 1式
  - ④上部振れ止め金具※(上面) 1個
  - ⑤パテ※(工事用窓内) 1個
- ※Dタイプのみ同梱されています。

●取付必須、○取付必須(選択)、▲必要に応じて使用、△必要に応じて使用(選択)

品名	当社形名	使用数	対象形名(表紙で確認できます。)					
			一般地		寒冷地			
			S	N	S	N		
据付工事 関連部材	① 簡易基礎(許容荷重0.4kN以上)	市販品	2	●	●	-	-	
	② 防雪架台(高置台)	GT-124A-A	1	▲	▲	●	●	
	(注1) 防雪架台(防雪屋根)	GT-124A-B	1	▲	▲	▲	▲	
	防雪架台(防雪板)	GT-124A-C	1	▲	▲	▲	▲	
	② T型座金(脚固定用)	同梱部品	3	●	●	●	●	
	⑤ アンカーボルト M12(30本入)	GZ-B1F	3	●	●	●	●	
	脚固定金具(木質床用・M12ねじ)(注2)	GZ-H12A	1セット	▲	▲	▲	▲	
	④ 上部振れ止め金具	同梱部品(注3)	1	▲	▲	▲	▲	
	上部振れ止め金具(木質壁用)(注2)	GZ-TS3H	1	▲	▲	▲	▲	
	アンカーボルト M10(50本入)	GZ-B2F	2	▲	▲	▲	▲	
給水・給湯配管 ヒートポンプ配管 ふろ配管 工事関連部材 (銅管使用時) ※樹脂管使用時は 18~20ページ 参照。	④ 給水配管(20A)	市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
	⑤ 給湯配管(20A)	市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
	⑥ ヒートポンプ配管(10A)	当社別売部品(注5)	必要長さ分	●	●	●	●	
	⑦ ふろ配管(15A)	市販品	必要長さ分	●	-	●	-	
	⑧ フルオート用 浴槽アダプター	ストレート型 L型 GT-F761B GT-F791B	1(選択)	○	-	○	-	
	⑨ 凍結防止ヒータ(注6)	市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
	⑩ 保温材	市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
	排水配管工事 関連部材	⑩ 排水配管(HT管等、φ50以上)	市販品	必要長さ分	●	●	●	●
		⑪ 排水ホッパー(φ80)	市販品	1	●	●	●	●
		⑫ 貯湯ユニット用ドレン配管(内径φ18)	市販品(注7)	必要長さ分	●	●	●(取付)	●(取付)
① ドレンソケット		同梱部品	1	●	●	●	●	
⑬ ヒートポンプユニット用ドレン配管(内径φ16)		市販品	必要長さ分	●	●	-	-	
⑭ 電源線(2芯式) 21ページ参照		市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
⑮ 電源線用PF管(φ22)		市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
⑯ 電源通信線(3芯式単線) 21ページ参照		市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
⑰ 電源通信線用PF管(φ16)		市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
⑱ アース棒		GT-30F	1	●	●	●	●	
⑲ アース線(φ1.6) 21ページ参照	市販品	必要長さ分	●	●	●	●		
⑳ アース線接続端子(M4丸型)	市販品	2	●	●	●	●		
リモコン工事 関連部材	㉑ リモコンセット ㉒タイプ用(注8)	RMCB-D184SE	1	●	-	●	-	
	㉑ 給湯専用リモコン ㉓タイプ用	RMCB-N184	1	-	●	-	●	
	㉒ リモコン線	LM-620B LM-650B	必要長さ分 (選択)	○	○	○	○	
	㉓ リモコン線PF管(φ16)	市販品	必要長さ分	●	●	●	●	
	㉔ リモコン壁貫通パイプ	GT-5SEKPA	1	▲	-	▲	-	
㉕ パテ	市販品(注9)	1	●	●	●	●		

注1 積雪地域では、防雪架台(高置台、防雪屋根、防雪板)を使用してください。  
注2 貯湯ユニットを木質床に設置する場合、地盤及び1階並びに敷地の部分に設置とし、必ず上部も固定してください。(国土交通省告示 第1447号)  
注3 Dタイプのみ同梱されています。必要な場合は、当社別売部品(形名:GZ-TS3)をご購入ください。  
注4 ファンパルに氷柱が積る地域では、ファン保護ルーフを使用してください。  
注5 当社別売部品は下表のとおりです。

配管長	品名	形名	使用数	同梱部材
5m以下	ヒートポンプ架橋配管セット	GT-KPSET5	1セット	ヒートポンプ配管(5m、保温材10mm)×2本、継手セット
5m超	ヒートポンプ架橋配管	GT-KP25	必要長さ分	ヒートポンプ配管(25m、保温材20mm)×1本
	ヒートポンプ架橋配管継手セット	GT-KPJTSET	1セット	継手セット

●ヒートポンプ配管工事は更新性を考慮して実施ください。  
※更新の際に床、壁、天井などの工事を伴わず、容易に交換可能な設置(貯湯ユニットとヒートポンプユニットの近接設置)  
更新性につきましては、販売店・工事店様にて判断をお願いいたします。  
●当社別売部品のヒートポンプ配管は、据え付け後10年以内に更新してください。  
配管を更新しない場合、ヒートポンプ配管が劣化し水漏れの可能性があります。

注6 東京特殊電線製フルオートヒーター(市販品の一例)をご購入ください。  
注7 Dタイプのみ取り付けられています。その他の機種は市販品をご購入ください。  
市販品の一例:ユニー産業(株)製タフドレン(品番 TFD-14)  
注8 リモコンセットには以下のリモコンが同梱されています。  
RMCB-D184SE: RMCB-BD184(浴室リモコン)とRMCB-KD184(台所リモコン)  
注9 Dタイプのみ同梱されています。その他の機種は市販品をご購入ください。

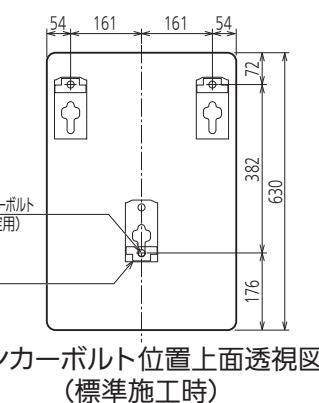
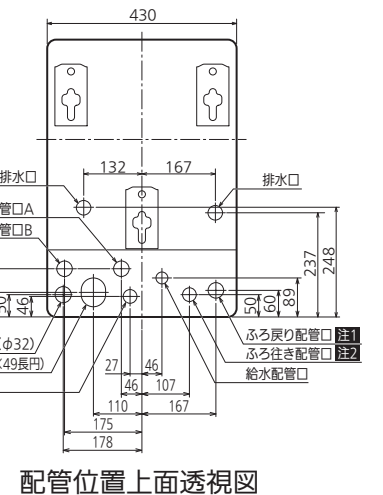
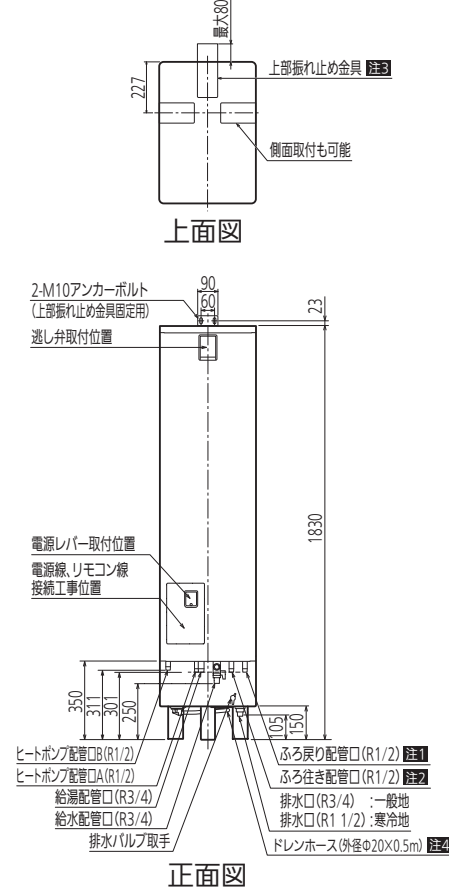
【お願い】  
●使用部材の安全上のご注意や施工方法は、部材に同梱の説明書にしたがってください。  
●給湯機の買い替え時は、各種配管・配線類も入れ替えてください。  
やむを得ず取付する部材を使用する場合は、正常に使用できることを確認してください。  
本紙に記載の制約や施工上のお願い事項は必ずお読みください。

# 外形寸法図

<単位:mm>

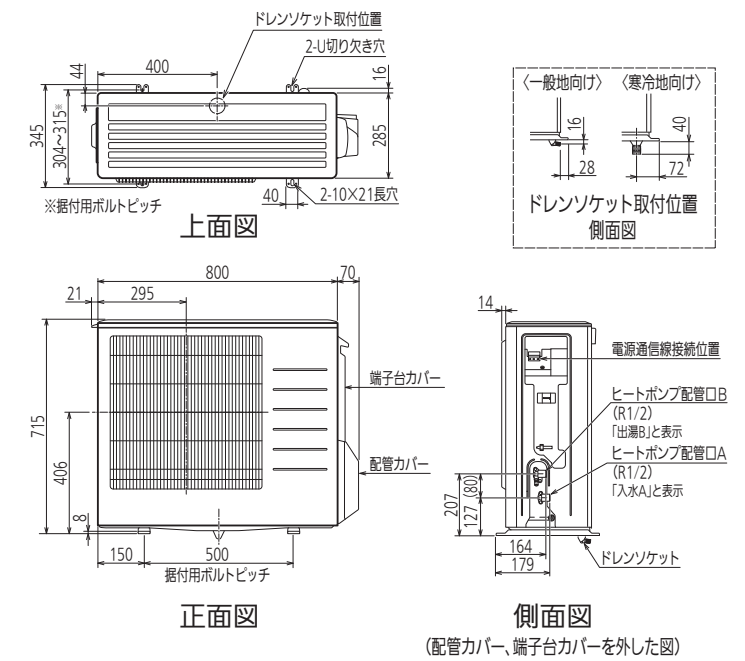
## ●貯湯ユニット

SRT-ST184, SRT-ST184D, SRT-NT184, SRT-NT184D  
SRT-STK184, SRT-STK184D, SRT-NTK184, SRT-NTK184D

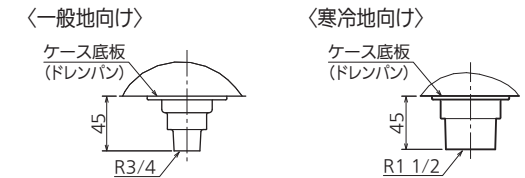


## ●ヒートポンプユニット

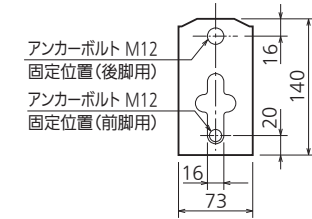
SRT-MU45804-S, SRT-MU454-A  
SRT-MUK60904-S, SRT-MUK454-A



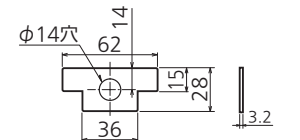
### ●排水口寸法



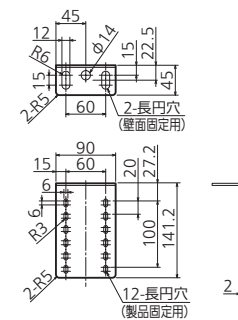
### ●器体脚詳細図(標準施工時)



### ●T型座金詳細図



### ●上部振れ止め金具



注1 注2 ふろ戻り配管口、ふろ行き配管口は追いだしフルオート機種のみ名称です。給湯専用機種にはありません。  
注3 形名に「D」の付くタイプの同梱されています。  
注4 形名に「D」の付くタイプの取り付けられています。

工事の前

据付工事

配管工事

電気工事

工事完了確認

# 据付場所の選定

## ヒートポンプユニット、貯湯ユニット共通項目

- お客様と相談し、機器の据付場所をきめてください。
- 機器の性能や保守点検のため「設置制約」のスペースを確保してください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、給湯場所に近い所へ据え付けてください。
- 階段・避難路などの付近で避難の支障となる場所には据え付けしないでください。
- 油分の付着しやすい場所(キッチンなど)には据え付けしないでください。
- 次の場所では使用できません。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス類や引火物の近く(ガスボンベからは2m以上離す)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温泉地帯や浄化槽など、腐食性ガスが発生する特殊な場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水たまりができて、水につかるような所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●湿気の多い場所</li> </ul>
---	---	---	--

## ヒートポンプユニット

- 通気性の良い場所に据え付けてください。
- 砂利や土の上など、ドレン水を排水できる場所に据え付けてください。わき上げ時、結露した水がドレン口から排水されます。
- 次の場所には据え付けしないでください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●屋内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寝室の近くやご近所の迷惑になる場所(※1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●強風に当たる場所(除霜時間が長くなります。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テレビ・ラジオのアンテナの近く(※2)(3m以上離す)</li> </ul>
---	--	---	--

※1.ヒートポンプユニットは運転音、振動が発生し、わき上げ中は冷風が出ます。わき上げ中及び凍結防止運転中の運転音は周囲の騒音や反響を受けて大きくなるのが普通です。寝室の近くやご近所の迷惑になる場所への据え付けは避けてください。各地区の騒音規制等に関する条例にしたがって設置してください。

騒音等防止を考えた据付けに関して  
『騒音等防止を考えた 家庭用ヒートポンプ給湯機の据付ガイドブック』を下記URLより無償ダウンロードできますので参照してください。  
一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページ [http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t\\_guide.html](http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html)

※2.テレビ・ラジオに映像のみだれや雑音が生ずることがあります。

## 貯湯ユニット

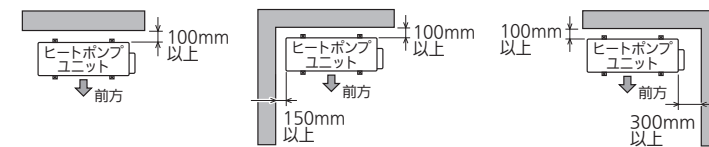
- 積雪地域で屋外に据え付ける場合は、小屋がけをして雪がかかるのを防いでください。天板が変形するおそれがあります。また、雪が本体に入り込み、エラーが出るおそれがあります。
- 冬期の最低気温がマイナス15℃を下回る場合は、貯湯ユニットを屋内に設置してください。(寒冷地向け機種)

# 設置制約

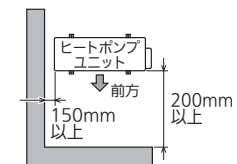
## ヒートポンプユニット

- 3方向に障害物がある場合は設置できません。ただし、前方(吹出側)が金網等の風通しの良いものの場合、障害物となりません。

■前方(吹出側)に障害物がない場合(上から見た図)  
上方向は開放(1m以上確保)の条件です。

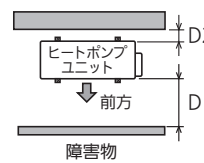


■後方(吸込側)に障害物がない場合(上から見た図)  
上方向は開放(1m以上確保)の条件です。

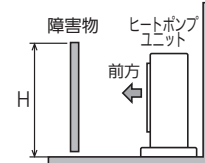


■前方(吹出側)に障害物がある場合

●上から見た図



●横から見た図



所要スペース(D1及びD2)は、障害物の高さ(H)によって変わります。風向ガイドを取り付ける場合は、下表を参照ください。ただし、設置条件によっては運転音が上がることがあります。

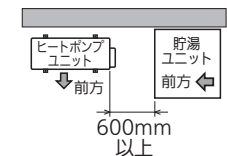
障害物の高さ(H)	所要スペース(D1/D2)	
	風向ガイドなし	風向ガイドあり
1200mm以下	100mm以上/100mm以上	170mm以上/30mm以上
1200mm超	300mm以上/100mm以上	350mm以上/30mm以上

※壁に向けて吹き出すと、壁が汚れる場合があります。  
※吹き出した風を再び吸い込む場合は、加熱能力が悪化します。  
風向ガイド(当社別売部品)を取り付けると、加熱能力の改善が図れる場合があります。

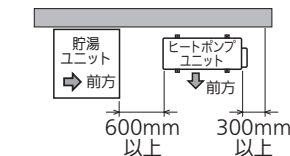
## メンテナンススペース(上から見た図)

- 貯湯ユニットの前方に600mm以上、上方に200mm以上必要です。
- ヒートポンプユニットの配管取出側に300mm以上、上方に100mm以上必要です。

■標準配置

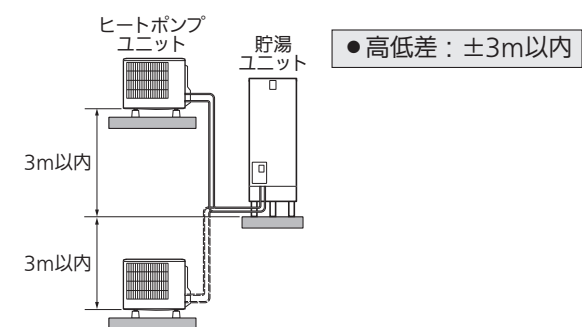


■逆配置

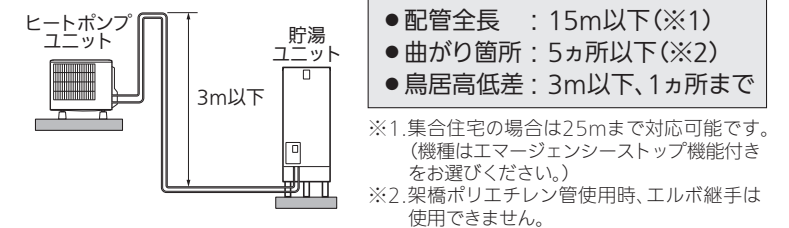


## ヒートポンプユニットと貯湯ユニット間

■ユニット間の高低差の制約



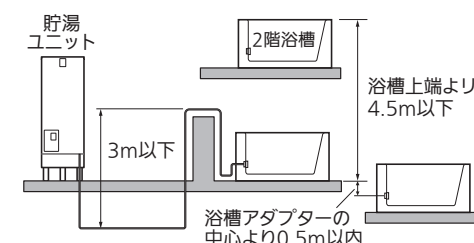
■配管の制約



ヒートポンプ配管の長さ温度低下について

- タンク内の温度はヒートポンプ配管からの放熱により、わき上げ温度より低くなります。配管が長くなるほど放熱は大きくなります。配管は短くすることをおすすめします。
- 配管放熱による温度低下の例  
配管長15m、耐熱保温材20mm、外気温マイナス7℃の場合で約5℃低下します。その他の要因(外気温、湿度、各部放熱)を含めると約10℃低下することがあります。

## 貯湯ユニットと浴槽間



- 配管全長 : 15m以下
- 曲がり箇所 : 10ヵ所以下(架橋ポリエチレン管使用時エルボ継手5ヵ所まで)
- 鳥居高低差 : 3m以下、1ヵ所まで(浴槽が2階の場合は不可)

※階下への湯はりにはできません。

# ヒートポンプユニットの据付

## 一般地向け

- 本体が冷えて結露する場合があります。結露水が滴下してもよい場所に設置してください。
- 積雪地域では、防雪架台の上に設置してください。また、雪が空気吸込口・吹出口に入らないような対策をしてください。
- ドレンが凍結するおそれがある場合、ドレンソケットは取り付けないでください。



**1** ヒートポンプユニットの脚を簡易基礎(市販品)に固定する(4ヵ所)

- 必ず、屋外、床置きにて、水平に据え付けてください。
- 製品運搬時に手を持ち替えないでください。(けがの原因)
- ボルトサイズ:M6以上、推奨M8

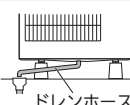
**2** 配管カバーを外し、ドレンソケットをクランプから取り外す

- ドレンソケットが固定されているクランプは、電源通信線固定用として使用します。切断しないでください。

**3** ドレンホース(市販品 φ16)をドレンソケットに取り付ける

- ドレンソケットは確実に取り付けてください。
- ドレンホースは水がたまらないように、たるみのない下り勾配を設けてください。
- 排水口へ適切な方法(凍結しない方法)でドレン水を導いてください。

**4** ドレンソケットをヒートポンプユニットのドレン口に取り付け、ドレンホースを排水できる位置へ導く

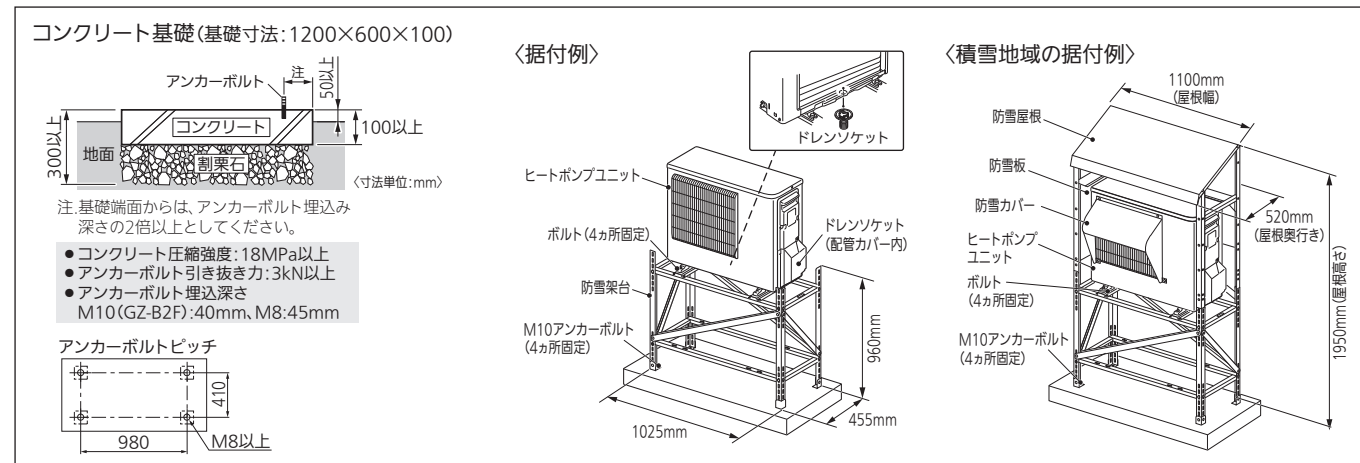


### 施工時のお願い

## 寒冷地向け

- 必ず防雪架台を使用し、水平に設置してください。積雪地域では防雪カバー、防雪屋根、防雪板を使用してください。
- 砂利や土の上など、ドレン水を排水できる場所に基礎工事をしてください。(下記参照)
- 犬走り等、住宅の基礎と一体の場所に設置する場合は下記にしたがってください。

※アンカーボルトの中心と基礎辺部との距離は、アンカーボルト埋込み深さの2倍以上としてください。  
※ドレン水が滴下し凍結するおそれがある場合は、排水口を設けてください。排水口へは適切な方法(凍結しない方法)でドレン水を導いてください。



### 施工時のお願い

**1** 防雪架台を基礎に固定する(4ヵ所)

- 防雪架台の組立方法、注意事項等は、架台に付属の説明書をご覧ください。
- 地震時の転倒防止のため、アンカーボルト(M8以上、推奨M10)で固定してください。

**2** ヒートポンプユニットの脚を防雪架台に固定する(4ヵ所)

- 防雪架台に付属のボルト(ワッシャー付き六角ボルトM6×25)を使用してください。

**3** 配管カバー内のドレンソケットを取り出し、ヒートポンプユニットのドレン口に取り付ける

### <積雪地域のみ>

**4** 防雪カバーをヒートポンプユニットに取り付ける

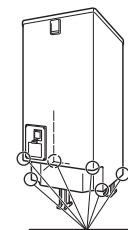
- 防雪カバーの組立方法、注意事項等は、防雪カバーに付属の説明書をご覧ください。

**5** 防雪屋根、防雪板を防雪架台に取り付ける

- 防雪屋根、防雪板の組立方法、注意事項等は、防雪架台に付属の説明書をご覧ください。

# 貯湯ユニットの据付

- 横にして運搬する場合は、前面を上にして梱包状態のまま貯湯ユニット背面上部の取っ手と下部の木枠を持ってください。開梱後、裸の貯湯ユニットだとケースに傷がついたり、外装部品(各配管口、排水栓、水抜き栓等)が破損する可能性があります。
- 屋内に据え付ける場合は、屋外の場合の注意に加え、特に下記を厳守してください。
  - 結露防止のため、通気口を設け密閉室にしないでください。
  - 確実に床面の防水・排水工事をしてください。
  - 浴室など湿気の多い所には据え付けしないでください。
- メーターボックス内に設置する場合は下記を厳守してください。
  - 扉の上下それぞれに通気口(開口面積100cm<sup>2</sup>程度)を確保してください。
  - 必要に応じて換気扇を設けてください。
- 小動物(ヤモリなど)が侵入するおそれがある場合
  - 貯湯ユニットのコーナー部分※1をパテ(市販品)でふさいでください。
    - ※1.下部のコーナー部分4ヵ所、前面上部のコーナー部分2ヵ所(右図)
- 貯湯ユニットは、国土交通省告示第1447号(平成25年4月1日施行)に適合した設置工事が必要です。必ず当社指定の据付工事をしてください。
- 取付方法やタンク容量によって対応できる建築設備耐震設計・施工指針における耐震クラスが異なります。貯湯ユニットは、「耐震クラスS」または「耐震クラスA」対応です。



### パテ施工部

- 下部のコーナー部分4ヵ所
- 前面上部のコーナー部分2ヵ所

## 耐震クラス

- 日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における「局部震度法」による表に記載の設計用水平震度(KH)に相当する荷重を貯湯ユニットに印加した場合に貯湯ユニットが転倒しないこと。

耐震クラス	単位:G	
	地上階(1階)	2階以上
S	1.0	2.0
A	0.6	1.5
B	0.4	1.0

※貯湯ユニットは、国土交通省告示第1447号(平成25年4月1日施行)に適合した設置工事が必要です。必ず当社指定の据付工事を行ってください。  
※【試験条件】 満水の貯湯ユニットを所定の方法にて固定し、重心位置を弱軸方向へ連続的に荷重を加え、貯湯ユニットが表に記載の設計用水平震度(KH)に相当する荷重に耐えることを確認

- 耐震クラスは、設置階、固定方法により異なります。(下表参照)

## 脚部/上部固定方法及び耐震クラス

### ■地階及び1階並びに敷地の部分に設置時

固定方法	標準施工	標準施工ができない場合
	<p>●アンカーボルト 3ヵ所</p>	<p>●アンカーボルト 3ヵ所</p>
耐震クラス	S	S

### ■2階以上設置(Dタイプのみ)

固定方法	標準施工	標準施工ができない場合
	<p>●アンカーボルト 3ヵ所</p>	<p>●アンカーボルト 3ヵ所</p>
耐震クラス	A	A

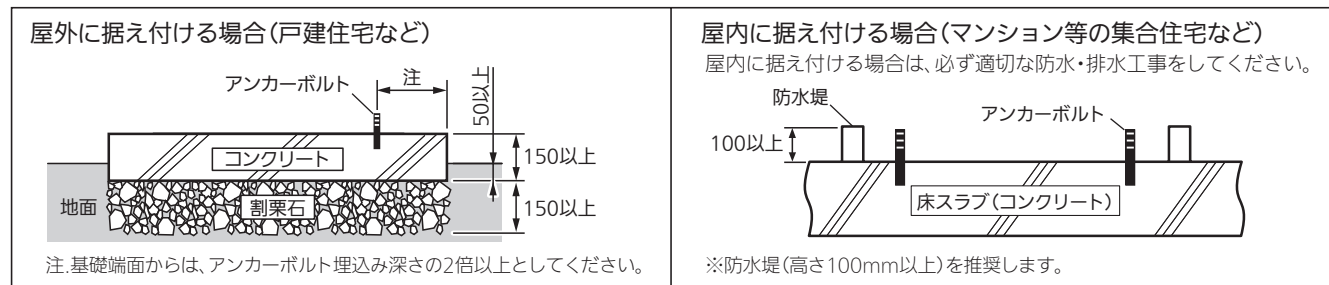
# 貯湯ユニットの据付(つづき)

地震時の転倒防止のため、必ず実施してください。

## 基礎工事

- 貯湯ユニット満水時の質量(33ページ「仕様表」参照)に十分耐える基礎工事をしてください。
- 床面は防水・排水工事をしてください。
- 基礎工事は下図にしたがってください。

〈寸法単位:mm〉



- コンクリート圧縮強度:18MPa以上 ●アンカーボルト引き抜き力:12kN以上<sup>※1</sup>
- ※1.耐震クラスB、地階及び1階並びに敷地の部分に設置時は、アンカーボルト引き抜き力:6.7kN以上

## 【お願い】

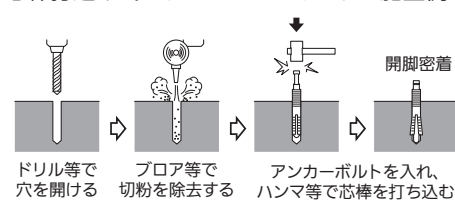
- 貯湯ユニットは、原則として屋外に据え付けてください。ただし、Dタイプは屋内設置可能です。
- アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。めねじアンカーボルトは使用しないでください。

アンカーボルト(脚部固定用 形名:GZ-B1F) 〈寸法単位:mm〉

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ <sup>※2</sup>
12	100	40	12.7	80

※2.耐震クラスB、地階及び1階並びに敷地の部分に設置時は、埋込み深さ:60mm

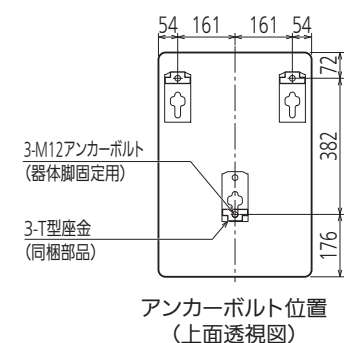
## 芯棒打込み式おねじアンカーボルトの施工例



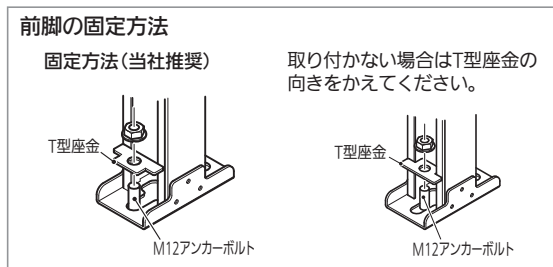
## 脚部固定工事

- 必ず水平に取り付けてください。
- 同梱のT型座金を使用し、すべての脚をアンカーボルトで直接固定してください。
- 2階以上に据え付ける場合は、必ず天部も上部振れ止め金具で固定してください。

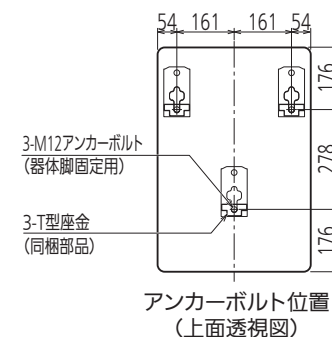
## 標準施工



- 1 所定の位置にM12アンカーボルトを3本施工する
- 2 T型座金を使用して、前脚の前側、後脚の後ろ側をアンカーボルトに固定する



## 標準施工ができない場合

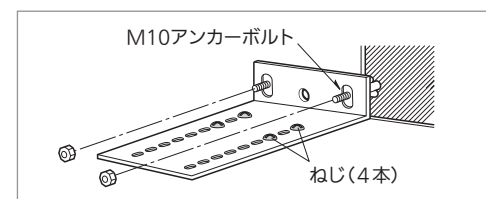


- 1 所定の位置にM12アンカーボルトを3本施工する
- 2 T型座金を使用して、各脚の前側をアンカーボルトに固定する

## 上部振れ止め工事

- 2階以上に据え付ける場合は、必ず天部も上部振れ止め金具で固定してください。上部振れ止め金具は、Dタイプのみ1個同梱されています。

**注意** アンカーボルトが壁内のラス網と電氣的に絶縁している状態で上部振れ止め金具を壁に固定する(絶縁していないと漏電のとき火災・感電の原因)



- 1 付属のねじ(4本/個)を使用して、上部振れ止め金具を上向きで本体に固定する
- 2 上部振れ止め金具をM10アンカーボルト2本で壁に固定する

## 【お願い】

- 引張荷重が4.9kN以上に耐える壁、または棧を設けてください。
- アンカーボルトは引き抜き力が2.45kN以上になる施工をしてください。
- アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。

アンカーボルト(上部固定用 形名:GZ-B2F) 〈寸法単位:mm〉

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	40

- 使用しないねじ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。シールは上部振れ止め金具に付いています。
- できるだけ壁と給湯機が近づくように上部振れ止め金具を固定してください。壁と給湯機が離れていると給湯機ケースが引っ張られ、逃し弁と操作窓が接触することがあります。
- Dタイプ以外で、上部振れ止め金具が必要な場合は、当社別売部品(形名:GZ-TS3)をご購入ください。

# 配管工事の前に(配管制約)

- 必ず水道法に定められた飲料水の品質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては機器や内部部品\*の寿命が通常より短くなる場合があります。\*タンク・減圧弁・逃し弁など
- 温泉水・地下水・井戸水は使用しないでください。使用期間中の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保が取れず、無償保証できません。

## (1)各配管の制約及び施工上のお願い

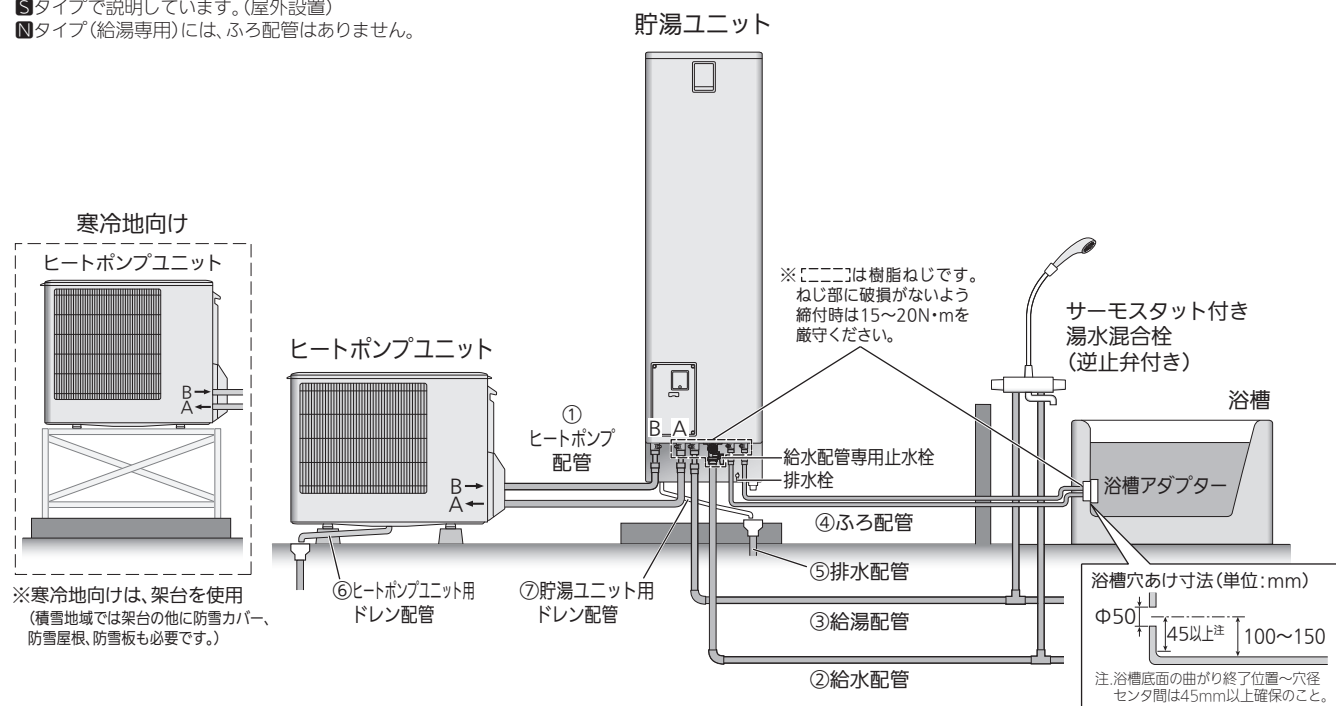
必ず、当社配管制約及び配管仕様・性能をご確認の上、配管やパッキンを選定してください。

配管名	耐熱温度		種類 (※1)	別売部品 (※2)	市販品	サイズ	継手呼び径 (製品)	長さ (片側)	曲がり (片側)	高低差	鳥居	保温材厚さ	施工上のお願い	樹脂管 施工要領
	配管	パッキン												
①ヒートポンプ配管	95℃ 以上	95℃ 以上	架橋PE管	○	—	10A	R1/2	15m	— (※3)	7ページ 参照	3m以下 (1カ所まで)	10mm以上 (※4) (配管長5m以下)	●更新性(更新の際に床、壁、天井などの工事を伴わず、容易に交換可能な設置)を考慮して実施ください。 ●ヒートポンプ配管は極性があります。必ず、各ユニットのA-A、B-Bを接続してください。 ●ゴム系の配管は使用しないでください。	18ページ
			銅管	—	○	10A			5曲がり					
②給水配管	—	—	架橋PE管	—	○	16A	R3/4	—	—	16ページ 参照	—	10mm以上 推奨	●給水配管専用止水栓(出荷時「閉」)が組み込まれています。 故障や点検など、排水時に操作が必要です。必ず、取付位置をお客様にご説明ください。	19ページ
			銅管	—	○	20A								
③給湯配管	90℃ 以上	90℃ 以上	架橋PE管	—	○	16A	R3/4	—	—	16ページ 参照	—	10mm以上 推奨	●階下給湯時は、貯湯ユニット天面から蛇口までを5m以内としてください。 ●給湯配管は管の膨張収縮があります。コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用してください。埋設配管するときは管を固定しないでください。	19ページ
			銅管	—	○	20A								
④ふろ配管 (Sタイプのみ)	80℃ 以上	80℃ 以上	架橋PE管	—	○	13A	R1/2	15m	— (※5)	7ページ 参照	3m以下 (1カ所まで)	10mm以上 推奨	●浴槽アダプターは当社別売部品を使用してください。浴槽アダプターは無極性です。 ●配管接続部にフレキ管を使用する場合は、合計で1m以内(呼び13)としてください。 ●配管の種類とサイズは適切な組み合わせで使用してください。 ふろ機能(湯はり・追いだきなど)が正常に動作しない場合があります。	20ページ
			銅管	—	○	10A		6m	5曲がり					
			銅管	—	○	15A		15m	10曲がり					
⑤排水配管(※6)	90℃	—	HT管	—	○	φ50 以上	一般地向け R3/4 寒冷地向け R1 1/2	—	—	下り勾配	—	●排水配管は、必ず下り勾配としてください。 ●必ず、口径φ80以上の排水ホッパー及び排水トラップを設置してください。 ●排水時には最大毎分40L程度排水されます。十分排水できる工事をしてください。	—	
⑥ヒートポンプユニット用 ドレン配管 (一般地のみ)	—	—	ドレン ホース	—	○	φ16	φ16	—	—	下り勾配	—	●ドレン配管は、必ず下り勾配としてください。 ●運転中は少量の水(最大毎分0.5L)が出ます。十分排水できる工事をしてください。 ●ドレンが凍結するおそれがある場合、ドレンソケットは取り付けしないでください。	—	
⑦貯湯ユニット用 ドレン配管	—	—	ドレン ホース	—	○	φ14	φ18	—	—	下り勾配	—	●ドレン配管は、必ず下り勾配としてください。	—	

※1.架橋PE管:架橋ポリエチレン管、HT管:耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 ※2.ヒートポンプ配管の架橋PE管は当社別売部品をご使用ください。(4ページ参照)  
 ※3.エルボ継手は使用できません。集合住宅の場合は25mまで対応可能です。ただし、配管が長くなるほど、放熱は大きくなります。  
 ※4.配管長5m~15mの場合は、20mm以上 ※5.エルボ継手は5箇所まで使用できます。  
 ※6.本体排水口から排水配管にフレキ管で導く場合は、長さ2m2曲がり以内で、必ず下り勾配としてください。また、50mmの排水口空間を確保してください。  
 貯湯ユニットの中に排水があふれるおそれがあります。

## (2)標準配管例

- Sタイプで説明しています。(屋外設置)
- Nタイプ(給湯専用)には、ふろ配管はありません。



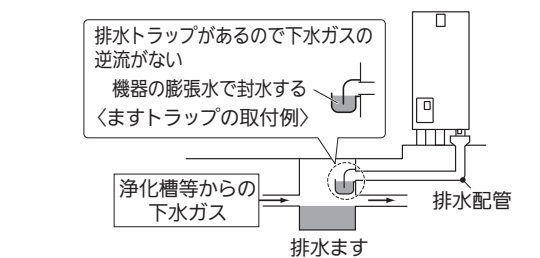
- 水源水圧が給水時に270kPa以上確保できる場所で使用してください。ただし、750kPaをこえる地域は給水一次側に減圧弁を設けてください。

**警告** 上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事業者が指定された配管材料を使用して施工する(配管破損による水漏れの原因)

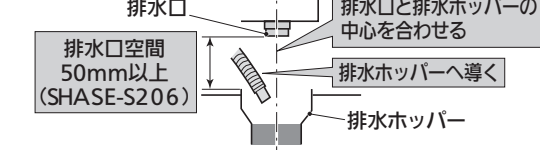
## 給湯機からの排水

- 貯湯ユニットの排水配管及びドレン配管には必ず排水トラップを設置してください。浄化槽などから下水ガスが逆流して、機器が著しく腐食し、故障します。(※1)
- 排水口空間を50mm以上(SHASE-S206)確保してください。
- 排水口と排水ホッパーの中心位置を確実に合わせてください。排水時に水が飛び散らないようにするためです。中心位置がずれている場合は、配管により最小距離で中心を合わせてください。距離が長いと凍結や排水時間が長くなる場合があります。配管は、鳥居(逆鳥居)配管せず下り勾配をつけてください。(※2)
- 排水口は樹脂ねじです。配管を接続する場合は、ねじ部に破損がないよう締付トルク15~20N・mを厳守ください。
- ドレンホースは下記にしたがい排水ホッパーへ導いてください。(製品内の水が排水できず、機器の腐食の原因になります。)
- ドレンホースに水がたまるないように、ソケットから排水ホッパーまで排水勾配を設ける(※3)
- たるませないように必要に応じて切断する(※3)
- 先端が水に浸からない(排水性能が著しく低下します。)(※3)
- 排水口からの排水をさまたげない、排水が飛び散らない
- 貯湯ユニット底面より上にならない
- 排水ホッパーから外れないように必要に応じて固定する

〈図1〉腐食が発生しない正しい施工例



〈図2〉



〈図3〉



# 凍結防止工事

- 保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると機器内の部品や配管が凍結します。配管凍結時は、機器内の部品や配管が破損し、水漏れとなる場合があります。必ず次の凍結防止対策をしてください。凍結による機器破損の修理は、保証の対象外です。
- 配管接続部の水漏れ有無を点検してから凍結防止工事をしてください。  
※配管接続部の水漏れ確認は、「配管の水漏れ確認について(17ページ)」を参照してください。

**注意** 凍結防止対策をする  
(配管破損による水漏れ、やけどの原因)

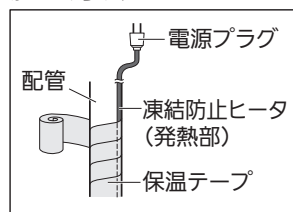
## (1)凍結防止ヒータを外部配管に設置する方法

凍結防止ヒータは、配管の温度を直接検出するタイプのものを使用してください。

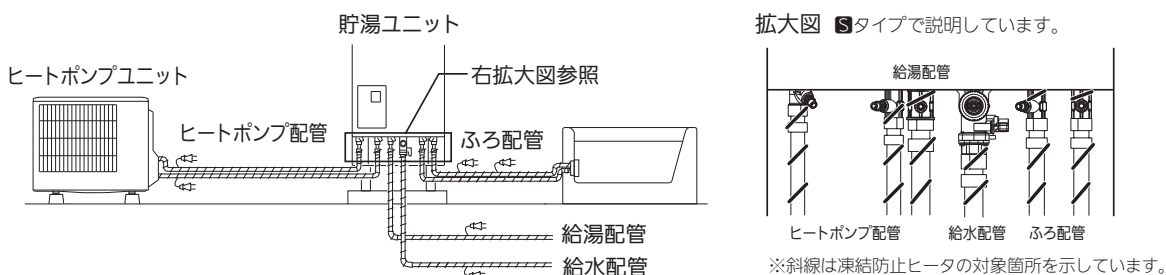
市販品の一例：東京特殊電線 NFオートヒーター(自己温度制御タイプ)  
樹脂管使用時は樹脂管の材質を確認して適切な仕様のものご使用ください。

- 外気温を検出するタイプは、温度誤検出のおそれがあります。
- 配管用の自動温度調節器(サーモスタット)のあるものを使用する場合は、確実に配管に取り付けてください。
- 凍結防止ヒータの電源接続部に水がかからないようにしてください。(火災・感電の原因)

### 施工方法



- 下図に示す凍結のおそれがあるすべての配管に施工してください。
- ヒートポンプ配管、給湯配管、ふろ配管は根元まで巻いてください。給水配管は、配管接続口まで巻いてください。
- 凍結防止ヒータは何本も使用しますのでコンセントを適当な位置に設けてください。
- 凍結防止ヒータは適切な長さのものをご使用ください。
- 凍結防止ヒータの取扱方法、操作方法をお客様に十分説明してください。
- 特定事業者と当社間で個別取り決めがなされている場合はこの限りではありません。



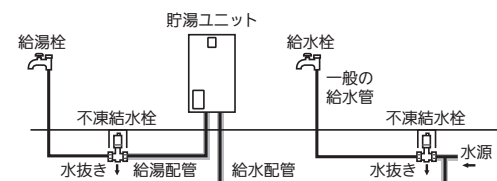
**警告** 凍結防止ヒータの施工についての詳細は、凍結防止ヒータに同梱の説明書にしたがう  
(電源コードや発熱体をねじったり、折り曲げたり、重ねて巻いたり、束ねたり、密着巻きをしたり、断線させたりすると、発火・火災の原因)

## (2)不凍結水栓による方法

不凍結水栓で給水、給湯配管を凍結防止する場合は、当社推奨配管システム※にしてください。

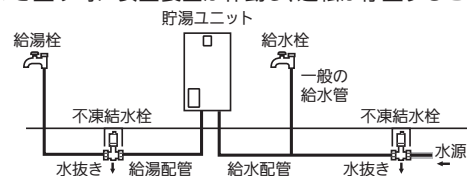
※不凍結水栓で一般の給水管の水を抜いても、貯湯タンクに水源水圧が常時加わるシステム

### 当社推奨配管システム



当該水道局の条例により、当社推奨配管システムができない場合  
不凍結水栓は使用せず、凍結防止ヒータによる凍結防止をしてください。

水抜きの際、タンクに水圧が加わらない配管システム  
(わき上げ時に安全装置が作動し、運転が停止することがあります。)



## (3)施工後すぐに使用しない場合

施工後すぐに使用しない場合は、機器内の水を抜いてください。(31ページ参照)  
残水があると、凍結により機器が破損することがありますので、確実に実施ください。

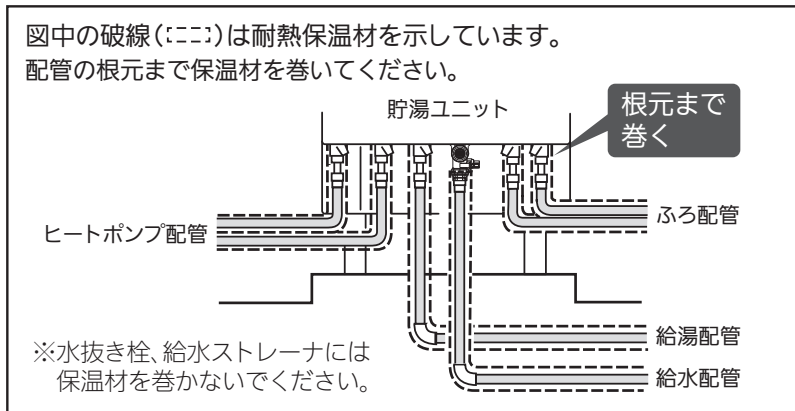
# 保温工事

- 配管接続部の水漏れ有無を点検し、凍結防止工事をした後に保温工事をしてください。  
※配管接続部の水漏れ確認は、「配管の水漏れ確認について(17ページ)」を参照してください。
- 全ての配管は、必ず耐熱保温材による保温工事をしてください。正しく保温工事がされていないと、冬期には凍結のおそれがあります。また、配管途中の放熱により、正常にわき上げや湯やりができない場合があります。

- 耐熱保温材の厚み
- ヒートポンプ配管：配管長5m以下の場合、厚み10mm以上で各水道事業者指定の厚み  
配管長5~15m以下の場合、厚み20mm以上で各水道事業者指定の厚み
  - その他の配管厚み：10mm以上で各水道事業者指定の厚み

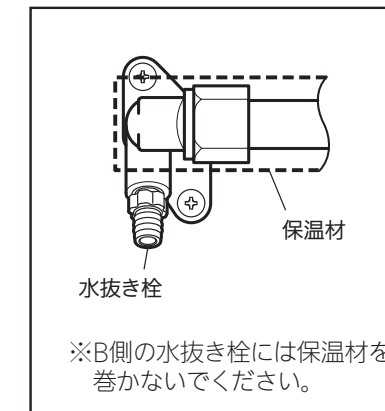
- 保温材がぬれないよう、必ずテープなどで防水処置をしてください。
- ヒートポンプ配管の接続口(A側、B側)も保温工事をしてください。

### 貯湯ユニット



注 Sタイプで説明しています。

### ヒートポンプユニット



### 万一凍結が発生した場合

各種外部配管に対して、本書に記載の凍結防止及び保温工事を実施してください。  
すでに十分な凍結防止・保温工事がなされている場合は、次の手順で解氷してください。

#### 【解氷方法】

- 下記の事項に留意してください。
- ①該当箇所周辺を家庭用ヘアードライヤー(700~1400W)で解氷してください。
  - ②再通水、再通電及びエラー解除後に、試運転を実施してください。

#### 【お願い】

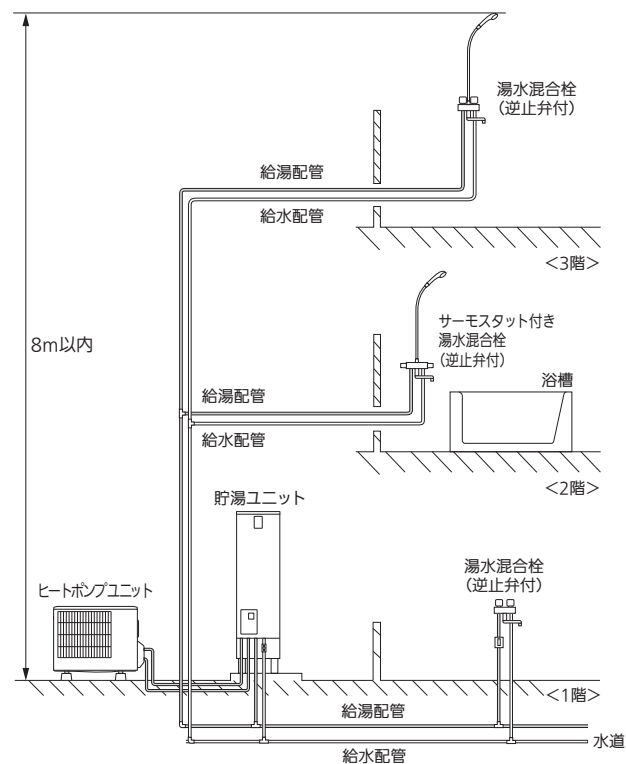
- 作業の安全性を確保するため、処置前に次のことを実施してください。
  - ・必ず、200V電源ブレーカーと貯湯ユニットの電源レバーを「切」にしてください。
  - ・給水配管専用止水栓を閉じてください。
- 各種部品は防水仕様ではありません。水もしくは湯を掛けることによる解氷は絶対にしないでください。
- 同じ箇所長時間温風を当てずにまんべんなく暖めてください。部品表面が高温(60℃以上)にならないようにするためです。
- 解氷すると凍結破損箇所から水が出る場合があります。タオルを当てるなどの処置をしてください。



# 階上(2、3階)給湯・階下給湯

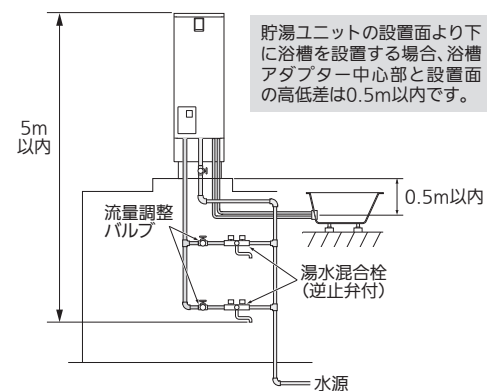
## 階上(2、3階)給湯

- 2階への給湯・湯はりが可能です。
- 3階でシャワー、洗髪洗面化粧台が使用できます。
- 3階への湯はりはできません。
- 貯湯ユニット設置階の上の階へ給湯するときは、階高さによる流量調整が必要です。流量調整できる位置に、市販の流量調整バルブまたは流量絞り弁を取り付けてください。
- 下の階で給湯しているときは、上の階での出湯が弱くなります。



## 階下給湯

- 給湯配管は階下5mまで可能です。5mを越えると、負圧によるタンク破損や空気の混ざった湯水が飛び散る原因になります。
- 給湯配管の途中に市販の流量調整バルブを取り付けてください。空気の混ざったお湯が出る場合は、貯湯ユニットへの給水量が不足しています。流量調節バルブで、給水量と給湯量を調節してください。
- 階下への湯はりはできません。



## 配管工事のお願いとお知らせ

### 【お願い】

- 各配管は、つぶれや折れのないように施工してください。また、異物等が混入しないようにしてください。機器が正常に動作しない場合があります。
- 架橋ポリエチレン管、被覆材は光が当たると劣化します。屋外配管部は、必ずシーリングテープを使用し、遮光してください。(別売部品:GT-S40B)
- 排水栓を操作できるように配管を施工してください。
- 製品入れ替え時は、各配管も入れ替えてください。既設のふる配管を使用する場合は、試運転時に循環洗浄してください。
- ヒートポンプ配管には、ゴム系の配管は使用しないでください。また、逆止弁・止水栓等、流れのさまたげになるものを取り付けしないでください。
- 集合住宅においては、ヒートポンプ配管はメンテナンス(更新性)を考慮して配管を選定してください。
- 給水配管や給湯配管に加圧ポンプを設置した場合、給湯温度が変動したり、音が出ることがあります。水源水圧や給湯流量が変動するためです。加圧ポンプを使用する場合は、あらかじめ使用者様へ了承をとってください。
- 水栓※によっては、水撃(ウォーターハンマー)現象がおこることがあります。水撃防止装置取付などの処置をお願いします。 ※シングルレバー式の湯水混合栓や手元ストップシャワー
- 750kPa以下で減圧弁1次側の水圧を検査してください。
- 配管ろう付け時は、ろう付け箇所付近のフラックスを濡れた布で拭き取ってください。
- 配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。
- ねじ切り・切断などの際、配管材料に油やゴミが付着します。施工時は、必ず中性洗剤で配管材料を洗浄してください。また、キズやバリがないように面取りをしてください。
- シールテープは、ねじ部よりはみ出さないようにしてください。
- 耐熱塩ビ管(HT管)の接着には、必ず耐熱接着剤(90℃以上)を使用してください。接着剤の種類、使用量、養生時間などは接着剤の説明書にしたがってください。また、接着剤硬化後に通水してください。接着剤がタンクに入ると、湯からの異臭や流量低下の原因になります。
- 逆止弁付湯水混合栓を使用してください。使用する蛇口によっては、出湯量が少ない場合があります。サーモスタット付湯水混合栓は、構造により出湯量が極端に少ない場合があります。選定時は、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認してください。手元ストップ機能やマッサージ機能付のシャワーヘッドは出湯量が少なくなります。

### 【お知らせ】

- わき上げ中に貯湯ユニットの排水口から少量のお湯(水)が出ます。
- 太陽熱温水器との接続はできません。

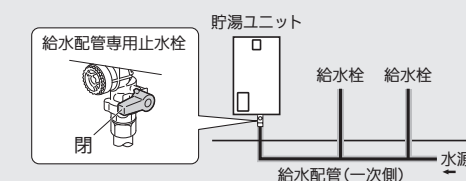
### 湯水混合栓について

給湯用水栓は、必ず逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁が付いていない場合、次の症状が発生することがあります。湯水混合栓が故障した場合も同様です。

- 湯水混合栓からの湯温が下がる(水の回り込みにより正常な湯水混合栓の温度も下がります。)
- 湯はり温度が下がる
- わき上げ中以外に逃し弁より排水される

### 配管の水漏れ確認について

- 給水配管以外の配管接続部の水漏れを確認するために機器内に水を入れた場合は、給水後に必ず機器内の水を抜いてください。(31ページ 図~図参照)
- 一次側配管の水漏れを確認する場合は、給水配管専用止水栓が閉じていることを確認してください。

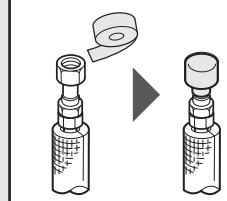


### 配管内への小石や異物の混入防止について

- 配管内に小石や異物が混入すると機器が故障する原因となります。次のことを厳守ください。

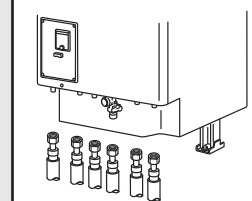
#### 配管の養生

- 小石や異物が入らないよう、継手部をテープ等でふさぐ



#### 配管内の洗浄

- 配管接続前に水を流すなどして配管内を洗浄する



# 樹脂管使用時の施工要領

## ヒートポンプ配管工事

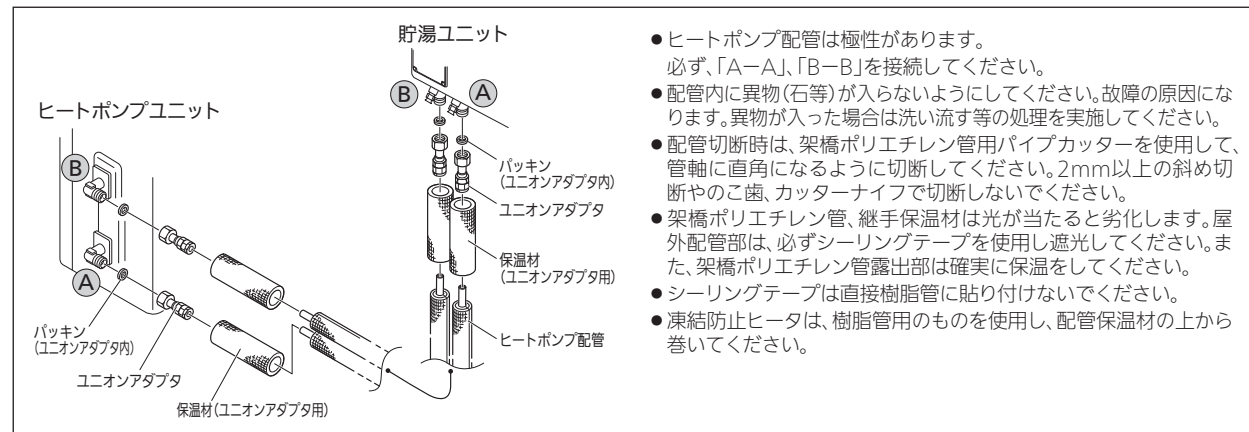
### (1) 必要部材一覧、接続概要図

#### ■必要部材一覧

部品名	配管サイズ・継手呼び径	形名	備考
ヒートポンプ架橋PE配管セット	10A	当社別売部品 GT-KPSET5	ヒートポンプ配管(5m、保温材10mm)×2本、継手セット
ヒートポンプ架橋PE配管	10A	当社別売部品 GT-KP25	ヒートポンプ配管(25m、保温材20mm)×1本
ヒートポンプ架橋PE配管用継手セット	G1/2×10A	当社別売部品 GT-KPTGSET	継手セット
シーリングテープ	—	当社別売部品 GT-S40B	

- ヒートポンプ配管工事は更新性※を考慮して実施ください。  
※更新の際に床、壁、天井などの工事を伴わず、容易に交換可能な設置(例:貯湯ユニットとヒートポンプユニットの近接設置)  
更新性につきましては、販売店・工事店様にて判断をお願いいたします。
- 当社別売部品のヒートポンプ配管は、据え付け後10年以内に更新してください。配管を更新しない場合、ヒートポンプ配管が劣化し水漏れの可能性があります。

#### ■接続概要図



### (2) 施工要領

#### ヒートポンプユニットへの接続

- 1** パイプ(架橋ポリエチレン管)とユニオンアダプタを接続する
  - ①ユニオンアダプタからインコアを外してパイプに挿入する
    - インコア挿入部の長さに合わせてパイプにマーキングし、マーキング位置まで差し込んでください。
  - ②パイプをユニオンアダプタに挿入する
    - パイプのマーキング位置まで差し込んでいることを確認してください。
    - パイプを引っ張り、抜けないかを確認します。パイプを少し回転させ継手となじませます。
    - 挿入確認後、必ずシールをはがしてください。配管の劣化が促進され、寿命が短くなる場合があります。
- 2** ユニオンアダプタのキャップを外し、接続部のパッキンを確認した後、手で回らなくなるまで締める
  - キャップは破棄してください。
  - 接続部にパッキンを押しあてながら締めてください。
- 3** 工具を使って、しっかりと締める
- 4** 同様に、もう一方を接続し、保温材を結束バンド3本で取り付ける
  - 水抜き栓を傷つけないように締めてください。
  - 保温材は配管の根元まで巻いてください。

#### 貯湯ユニットへの接続

- 1** パイプ(架橋ポリエチレン管)とユニオンアダプタを接続する
  - 「ヒートポンプユニットへの接続」①項を参照してください。
- 2** ユニオンアダプタのキャップを外し、接続部のパッキンを確認した後、手で回らなくなるまで締める
  - キャップは破棄してください。
  - 接続部にパッキンを押しあてながら締めてください。
  - ヒートポンプ配管口の樹脂ねじ部を破損させないように締めてください。
- 3** 工具を使って、しっかりと締める
  - 水抜き栓を傷つけないように締めてください。
  - 配管接続時は、15~20N・mで締めてください。
- 4** 同様に、もう一方を接続し、保温材を結束バンド3本で取り付ける
  - 保温材は配管の根元まで巻いてください。

## 給水・給湯配管工事

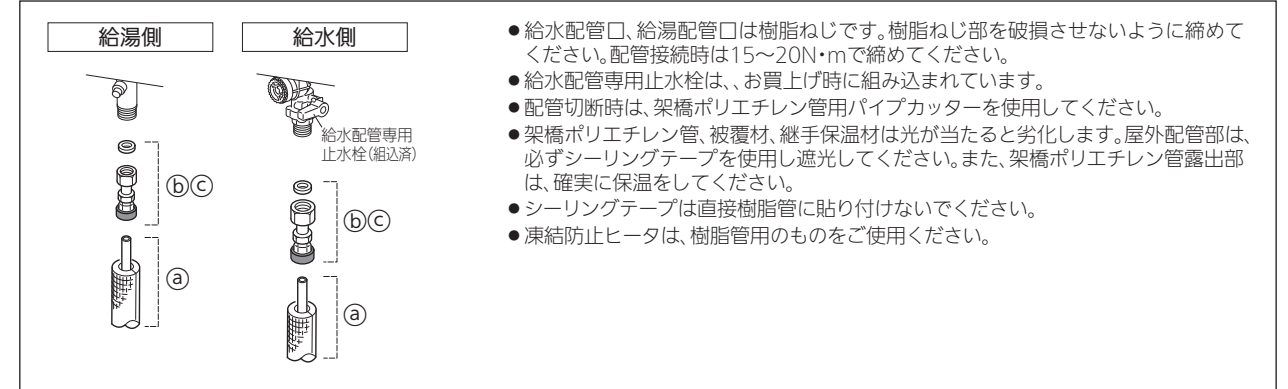
### (1) 必要部材一覧、接続概要図

#### ■必要部材一覧

番号	部品名	配管サイズ・継手呼び径	市販品形名	備考
①	被覆エクセルパイプHC(架橋ポリエチレン管)	16A	三菱ケミカルインフラテック(株)製 HC-16HON10B HC-16HON10P HC-16HON10B-50M HC-16HON10P-50M	被覆厚10mm・25m/巻(給水配管用) 被覆厚10mm・25m/巻(給湯配管用) 被覆厚10mm・50m/巻(給水配管用) 被覆厚10mm・50m/巻(給湯配管用)
②	ユニオンアダプタ	3/4x16A	三菱ケミカルインフラテック(株)製 MZ-20-16F	
③	継手保温材	—	三菱ケミカルインフラテック(株)製 WJ3H-16	ソケット用
—	シーリングテープ	—	当社別売部品 GT-S40B	

※集合住宅では、メンテナンス(更新性)を考慮して配管を選定してください。  
【市販品のお問合せ先】三菱ケミカルインフラテック株式会社 本社 TEL:03-6629-1275

#### ■接続概要図



### (2) 施工要領

#### 給湯配管口への接続

- 1** 給湯側で使用するパイプをユニオンアダプタに挿入する
  - パイプで挿入ガイドを押しながら、「パチン」と音がするまで差し込みます。挿入ガイド(赤色)が継手の奥に当たっていることを確認してください。
  - パイプを手でひっぱって、抜けないことを確認してください。
- 2** ユニオンアダプタのキャップを外し、接続部のパッキンを確認した後、手で回らなくなるまで締める
  - 給湯配管口の樹脂ねじ部を破損させないように締めてください。
- 3** 工具を使って、しっかりと締める
  - 配管接続時は、15~20N・mで締めてください。
  - 水抜き栓を傷つけないように締めてください。

#### 給水配管口への接続

- 1** 給水側で使用するパイプをユニオンアダプタに挿入する
  - パイプで挿入ガイドを押しながら、「パチン」と音がするまで差し込みます。挿入ガイド(赤色)が継手の奥に当たっていることを確認してください。
  - パイプを手でひっぱって、抜けないことを確認してください。
- 2** 給水配管口にシールテープを巻く
- 3** 給湯配管と同様に接続する

# 樹脂管使用時の施工要領(つづき)

## ふろ配管工事

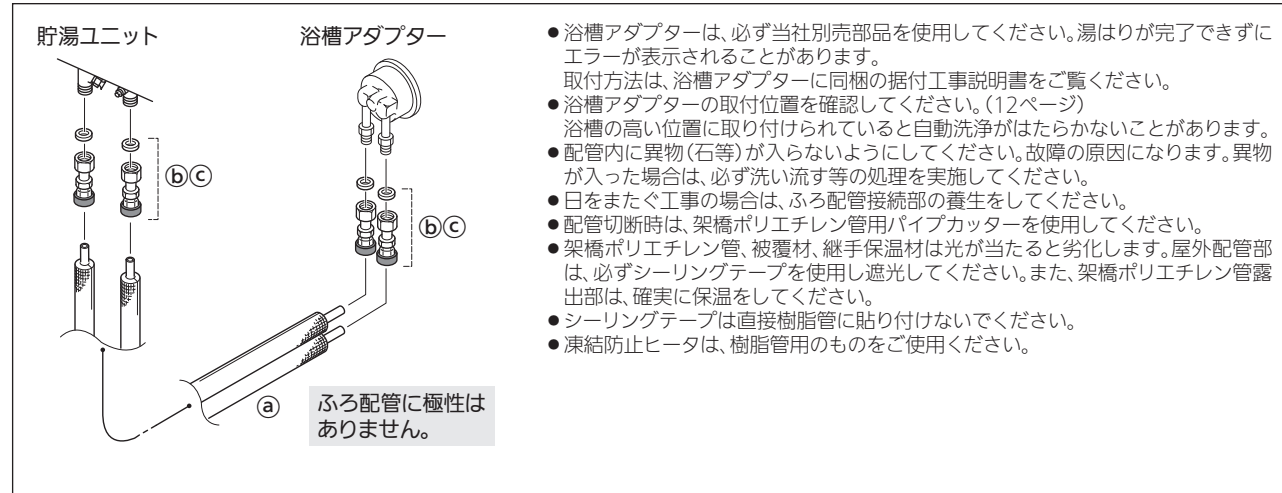
### (1) 必要部材一覧、接続概要図

#### ■必要部材一覧

番号	部品名	配管サイズ・継手呼び径	市販品形名	備考
①	被覆エクセルパイプHC (架橋ポリエチレン管、ペア管)	13A	三菱ケミカルインフラテック(株)製 HC-13HON10ペア	被覆厚10mm・25m/巻
②	ユニオンアダプタ	1/2×13A	三菱ケミカルインフラテック(株)製 MZ-15-13F	
③	継手保温材	—	三菱ケミカルインフラテック(株)製 WJ3H-13	ソケット用
—	シーリングテープ	—	当社別売部品 GT-S40B	

※集合住宅では、メンテナンス(更新性)を考慮して配管を選定してください。  
【市販品のお問合せ先】三菱ケミカルインフラテック株式会社 本社 TEL:03-6629-1275

#### ■接続概要図

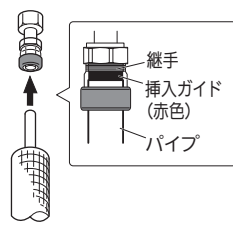


### (2) 施工要領

#### 貯湯ユニットへの接続

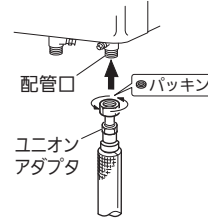
##### 1 使用するパイプをユニオンアダプタに挿入する

- パイプで挿入ガイドを押しながら、「パチン」と音がするまで差し込みます。挿入ガイド(赤色)が継手の奥に当たっていることを確認してください。
- パイプを手でひっぱって、抜けないことを確認してください。



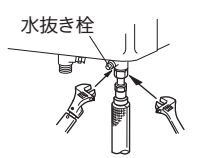
##### 2 ユニオンアダプタのキャップを外し、接続部のパッキンを確認した後、手で回らなくなるまで締める

- ふろ配管口の樹脂ねじ部を破損させないように締めてください。

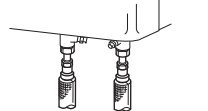


##### 3 工具を使って、しっかりと締める

- 配管接続時は、15~20N・mで締めてください。
- 水抜き栓を傷つけないように締めてください。



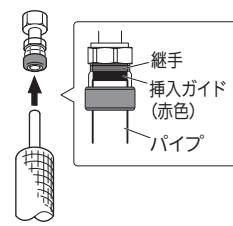
##### 4 同様に、もう一方を接続する



#### 浴槽アダプターへの接続

##### 1 使用するパイプをユニオンアダプタに挿入する

- パイプで挿入ガイドを押しながら、「パチン」と音がするまで差し込みます。挿入ガイド(赤色)が継手の奥に当たっていることを確認してください。
- パイプを手でひっぱって、抜けないことを確認してください。



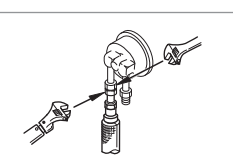
##### 2 アダプタのキャップを外し、接続部のパッキンを確認した後、手で回らなくなるまで締める

- 浴槽アダプターの樹脂ねじ部を破損させないように締めてください。



##### 3 工具を使って、固定部を押さえ付け、しっかりと締める

- 配管接続時は、15~20N・mで締めてください。
- 固定部を押さえ付けて締めないと、樹脂部分が破損するおそれがあります。



##### 4 同様に、もう一方を接続する



##### 5 浴槽アダプターを浴槽に取り付ける

# 電気工事

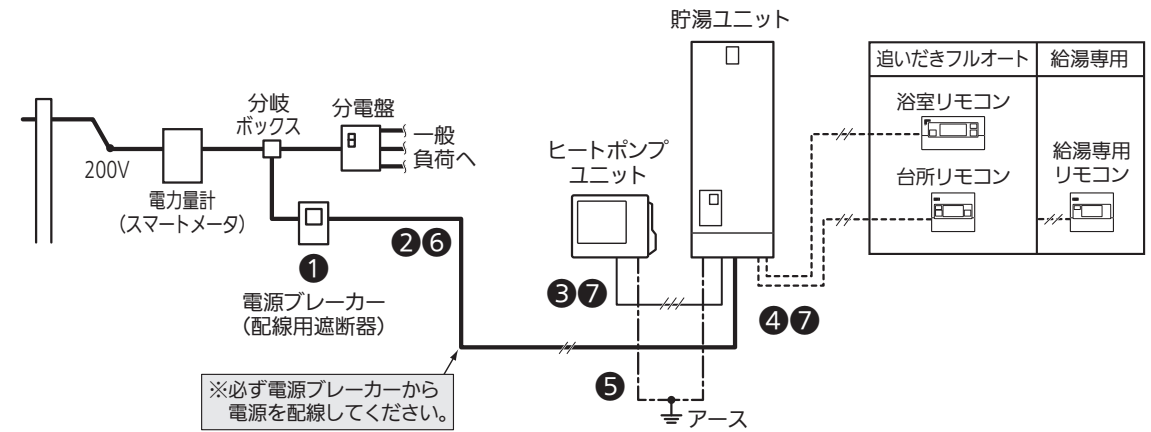
- ブレーカーの定格及び電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。
- 深夜電力契約には対応していません。
- 必ず、タンクを満水にしてから電源を入れてください。未満水通電による機器破損の修理は、保証の対象外です。

**警告** 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士\*が施工し、必ず、専用回路を使用する(火災・感電の原因)

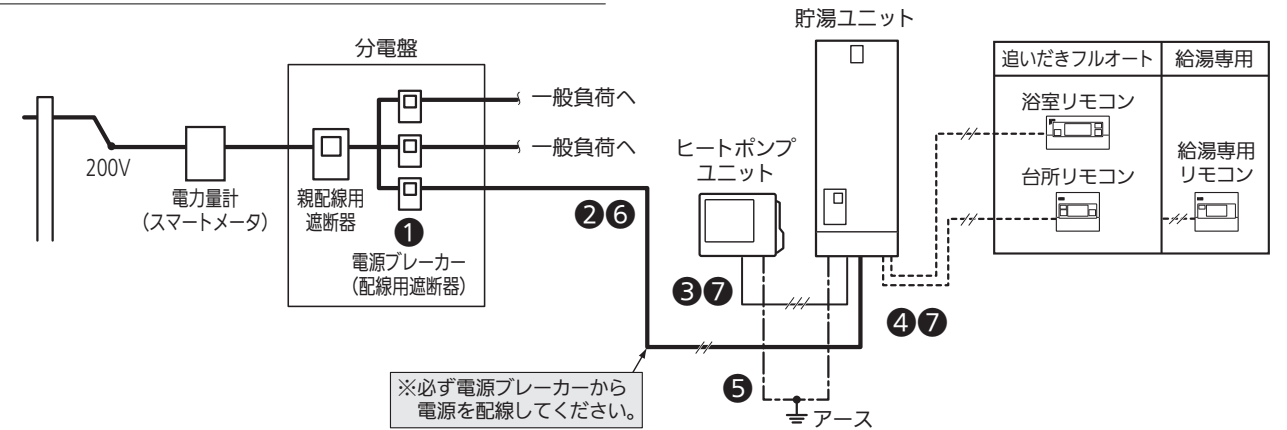
\*工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

#### 電気系統接続概要図

図中の番号(①~⑦)は必要部材番号の番号を表しています。



#### 電気給湯機用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合



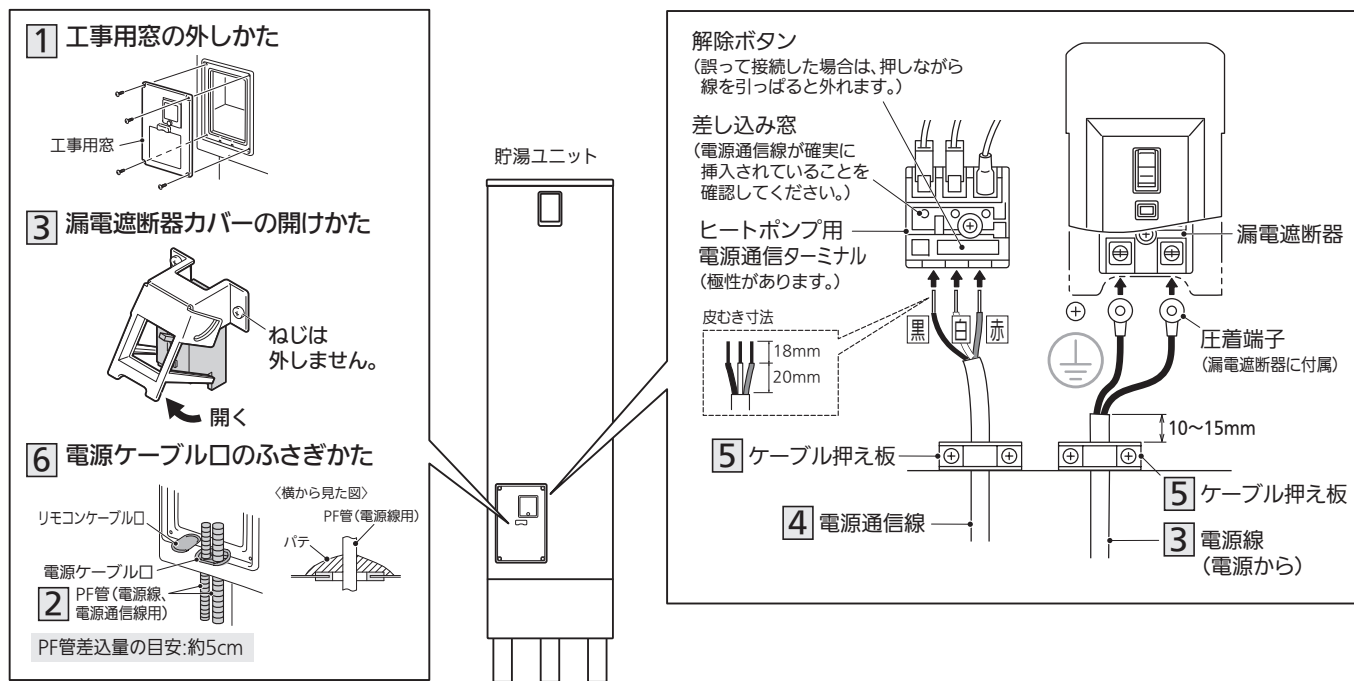
#### 必要部材

表中の番号(①~⑦)は上図に対応しています。

リモコン線は、当社別売部品(形名:LM-620BまたはLM-650B)を使用してください。

番号	名称	仕様	備考
①	電源ブレーカー(配線用遮断器)	单相200V、20A	
②	電源線	2芯式、3.5mm <sup>2</sup> (φ2.0)、VV線	●電源~貯湯ユニット ●圧着端子付属
③	電源通信線	3芯式(単線)、φ2.0、VVF線	●最長30m以内 ●貯湯ユニット~ヒートポンプユニット
④	リモコン線	2芯式、0.3mm <sup>2</sup> (当社別売部品使用時)	●最長50m以内 ●リモコン全回路
⑤	アース線	φ1.6(2.0mm <sup>2</sup> )以上、IV線	●アース端子ねじ付属 貯湯ユニット、ヒートポンプユニット:M4
⑥	PF管(電源線用)	φ22	●電源~貯湯ユニット
⑦	PF管(電源通信線用、リモコン線用)	φ16	●貯湯ユニット~ヒートポンプユニット ●貯湯ユニット~各リモコン

# 貯湯ユニットへの配線工事



## 1 工事用窓を外す

## 2 電源線(電源~貯湯ユニット)、電源通信線(貯湯ユニット~ヒートポンプユニット)をPF管に通す

## 3 電源線(電源~貯湯ユニット)を電源ケーブル口から通し、漏電遮断器に接続する

電源線 締付基準トルク:1.5~2.0N・m

## 4 電源通信線(貯湯ユニット~ヒートポンプユニット)を電源ケーブル口から通し、ヒートポンプ用電源通信ターミナルに接続する

## 5 電源線、電源通信線をケーブル押え板で固定する

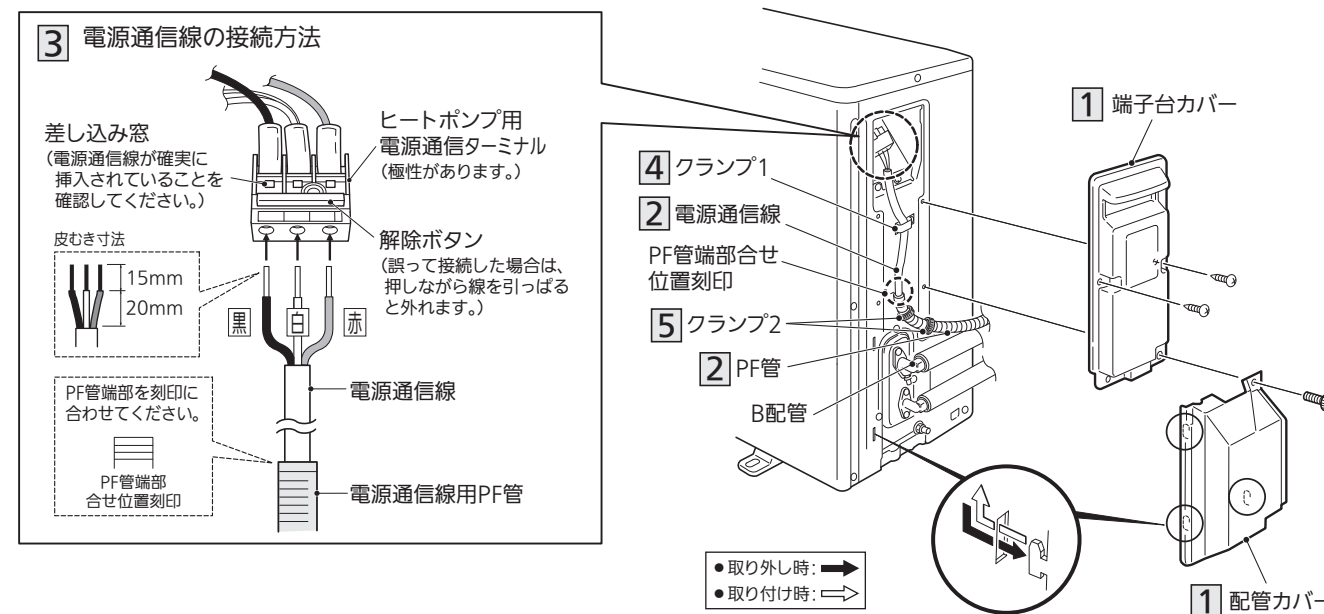
## 6 パテで電源ケーブル口をふさぐ

## 7 配線終了後、漏電遮断器カバーを閉じ、工事用窓を元どおりに取り付ける

### 施工時のお願い事項等

- 電源通信線は最長30mまでです。
- 漏電遮断器カバーを開いて接続してください。
- 電源線接続時は、インパクトドライバーなどは使用しないでください。必ず締付基準トルクで締め付けてください。
- 漏電遮断器に付属の圧着端子を使用してください。
- 電源線がVVF(平形)の場合は、市販のVVF線用クランプが必要です。
- 電源ケーブル口付近に内部配線があります。接触して断線しないように注意してください。
- 必ず3芯式(単線)、φ2.0、VVF線を使用してください。ケーブル押え板での固定不足、または、かみ込みにより電線を傷つけることがあります。
- 極性がありますので必ず合わせてください。(黒-黒、白-白、赤-赤)
- 図の寸法にしたがって皮をむいてください。
- ターミナルの差し込み窓から線が見えるまで確実に差し込んでください。その後、電線を1本ずつ引っぱり、抜けないことを確認してください。
- 端子部に直接外力が加わらないように確実に固定してください。固定位置は図の寸法にしたがってください。
- 虫などの侵入や、万一の電源ケーブル口からの漏水を防ぐため、必ずふさいでください。
- パテはDタイプのみ同梱されています。Dタイプ以外は市販品を使用してください。

# ヒートポンプユニットへの配線工事



## 1 配管カバー、端子台カバーを取り外す

## 2 貯湯ユニットからヒートポンプユニットまでの電源通信線をPF管(φ16)に通す

## 3 電源通信線をヒートポンプユニットのヒートポンプ用電源通信ターミナルへ接続する

## 4 クランプ1で電源通信線を固定する

## 5 クランプ2(2カ所)でPF管を固定する

## 6 配線終了後、端子台カバー、配管カバーを取り付ける

### 施工時のお願い事項等

- 配管カバー、端子台カバーの順に取り外してください。
- 極性がありますので必ず合わせてください。(黒-黒、白-白、赤-赤)
- 図の寸法にしたがって皮をむいてください。
- ターミナルの差し込み窓から線が見えるまで確実に差し込んでください。その後、電線を1本ずつ引っぱり、抜けないことを確認してください。
- 端子部に直接外力が加わらないように確実に固定してください。
- 工場出荷時、クランプ2にはドレンソケットが固定されています。ドレンソケットを取り外してからPF管を固定してください。ドレンソケットは、8ページにしたがって取り付けてください。
- PF管内に水が入らないよう、PF管端部をテープ等で巻いてください。
- PF管端部を合せ位置刻印に合わせ、端子台カバーに納めてください。
- PF管がB配管に触れないように固定してください。(B配管は90℃以上の高温になります。)
- 端子台カバー、配管カバーの順に取り付けてください。



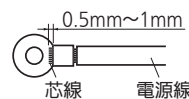
**警告**



電源線・電源通信線※は、中間接続をせず、所定のケーブルを使用して確実に接続する(発熱して火災の原因)

※電源通信線は、より線を使用しない

●電源線の丸端子の圧着は、丸端子に適合した圧着工具で正しく圧着してください。



# アース工事

- アース線接続時は、電源ブレーカー及び漏電遮断器を「切」にしてください。
- 水道管、ガス管への接地はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。



**警告**

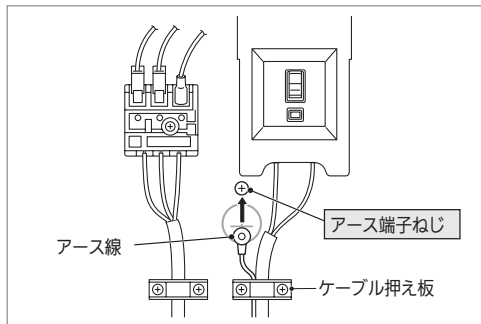


アース線を必ず接続せよ

**アースは確実に取り付ける(故障や漏電のときに感電の原因)**  
感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※がD種接地工事をしてください。(ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの双方に必要です。)

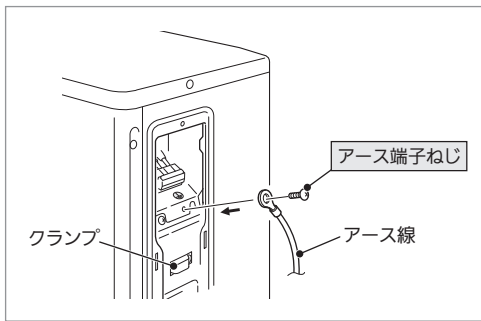
※工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

## 貯湯ユニット



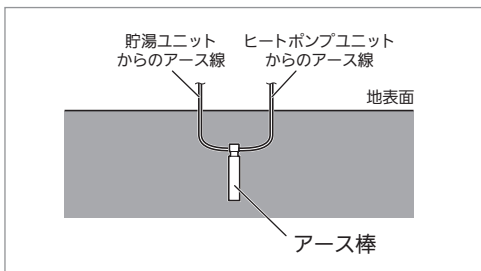
- 1 アース線(市販品)に丸型端子(市販品 M4)を圧着する
- 2 貯湯ユニット下部の電源ケーブル口から、アース線をユニット内へ通し、アース端子ねじ(⊕マーク)へ接続する  
締付基準トルク : 0.7~1.3N・m

## ヒートポンプユニット



- 1 アース線(市販品)に丸型端子(市販品 M4)を圧着する
- 2 アース線をアース端子ねじ(⊕マーク)へ接続する  
締付基準トルク : 0.7~1.3N・m
- 3 アース線をクランプで固定する

## アース棒の取り付け



- 1 アース線(2本)をアース棒に確実に接続する
- 2 アース棒を地中に打ち込む
- 3 接地抵抗値の確認をする(D種接地工事)

# リモコン工事

- リモコンは当社別売部品(4ページ参照)をご使用ください。取付方法はリモコンに同梱の据付工事説明書をご覧ください。

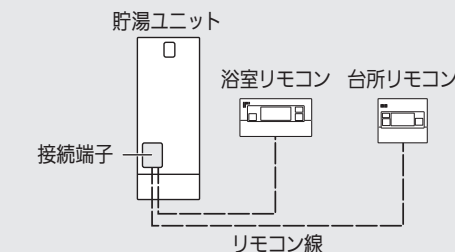
## 取付場所の選定

共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必ず平らな壁面に取り付けてください。(凹凸があるとリモコンが変形して誤動作することがあります。)</li> <li>●リモコン線の長さには制限があります。リモコン接続概要図を参照し、設置場所を選定してください。</li> </ul>
台所リモコン 給湯専用リモコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必ず屋内に取り付けてください。</li> <li>●台所リモコン、給湯専用リモコンは防水タイプではありません。</li> <li>●スイッチ操作が容易にでき、表示が良く見える位置(目の位置より少し下側)を選んでください。</li> <li>●無線タイプのドアホン親機より50cm以上離して設置いただくことをおすすめします。隣接していると、インターホン使用時にノイズ音を発生することがあります。</li> <li>●次の場所には取り付けしないでください。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○ガステーブルの近くなど高温(45℃以上)になるところ</li> <li>○湿気の多いところ</li> <li>○直射日光のあたるところ</li> <li>○湯気や水しぶきや油のかかるところ(防水タイプではありません。)</li> <li>○幼児の手が届くところ</li> </ul> </li> </ul>
浴室リモコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浴室内のスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見える位置(入浴中の目の位置)を選んでください。</li> <li>●できるだけ湯や水がかかりにくい場所に取り付けてください。</li> <li>●設置場所の壁裏側は蒸気がかかるような場所、湿気が多い場所をさけてください。</li> <li>●ジェットバスなど、大きい音が発生する場所からはなるべく離してください。近いと、インターホン機能が誤動作する可能性があります。</li> </ul>

## リモコン接続概要図

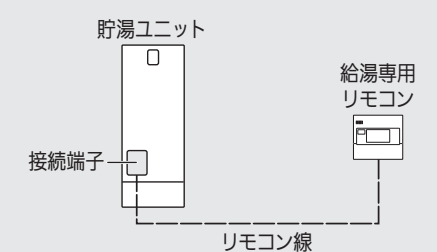
- 既設のリモコン線を使用する場合も、当社リモコンケーブル相当品(より線2芯式、導体断面積0.3~1.65mm<sup>2</sup>、絶縁体外径2mm以下、67.6Ω/km以下)としてください。また、リモコンと接続しない不要な分岐配線は残さないでください。
- 3芯以上の多芯線は使用しないでください。余分な芯線が他機器通信に使用されている場合だけでなく、未使用状態で放置している場合でも誤動作の原因になります。
- 貯湯ユニットから各リモコンまでの配線長は50m以内としてください。
- 貯湯ユニットから各リモコンまでのリモコン線は、PF管を通してください。(リモコン線全てをPF管に通すことが困難な場合も、必ず貯湯ユニットから家屋壁までの屋外配線箇所は切れ目のないPF管を通し、雨風や日光から保護してください。PF管に通さないと、リモコン線が断線したり、誤動作する可能性があります。)
- リモコン線はリモコン線以外の配線と約5cm以上離して配線してください。特に、リモコン線と電源線を同一パイプ内で配線することは避けてください。誤動作やエラー誤表示の原因になります。

### Sタイプ(追いだきフルオート)



- 本体1台に複数の浴室リモコン、複数の台所リモコンは接続できません。

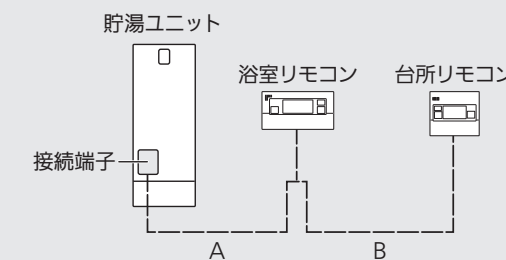
### Nタイプ(給湯専用)



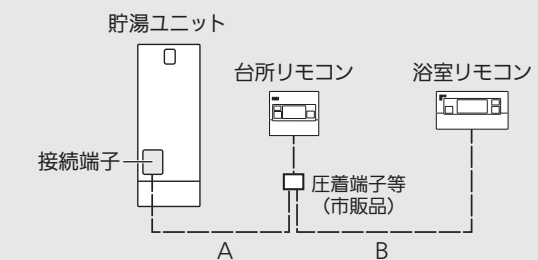
- 本体1台に複数の給湯専用リモコンは接続できません。

渡り配線する場合の接続概要図(必ず下記にしたがってください。)

### 接続例1(渡り配線時 当社推奨接続)



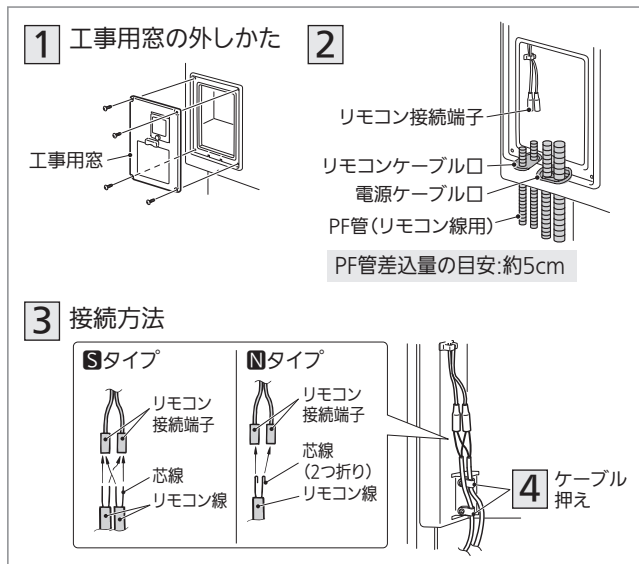
### 接続例2



- 貯湯ユニットから最も離れたリモコンまでの配線長(A+B)を50m以内としてください。
- 浴室リモコンの接続端子を使用して共カシメする場合は、リモコン線の導体断面積を0.3mm<sup>2</sup>としてください。導体断面積が0.3mm<sup>2</sup>以上の場合は、適合する接続端子(市販品)をご使用ください。
- 接続例2の場合、台所リモコン端子での共締めはしないでください。適合する圧着端子(市販品)をご使用ください。

## 貯湯ユニットへの接続工事

- 必ず、200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。「入」のまま工事をする、「H01」エラーなどが表示される場合があります。
- リモコン線の断線、短絡等が無いことをテスターで確認してください。200V電源ブレーカーの電源レバーを「入」にする前に実施してください。不具合が発生した場合、保証の対象外です。
- 台所リモコン、浴室リモコン、給湯専用の端子はどちらも無極性です。
- リモコン線の圧着(接続)時は、当社指定の圧着工具(株式会社ニチフ製 NH11 相当)を使用してください。また、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。
- リモコン線は、必ずケーブル押えで固定してください。端子部に直接外力が加わらないように確実に固定してください。
- リモコン線の芯線接続部どうしは接触させないでください。
- リモコン線どうしの中継をしないでください。誤動作の原因になります。
- リモコン線に商用電源(100V、200V)を接続しないでください。故障の原因になります。
- 電気ドライバー、インパクトドライバーなどは使用しないでください。破損のおそれがあります。



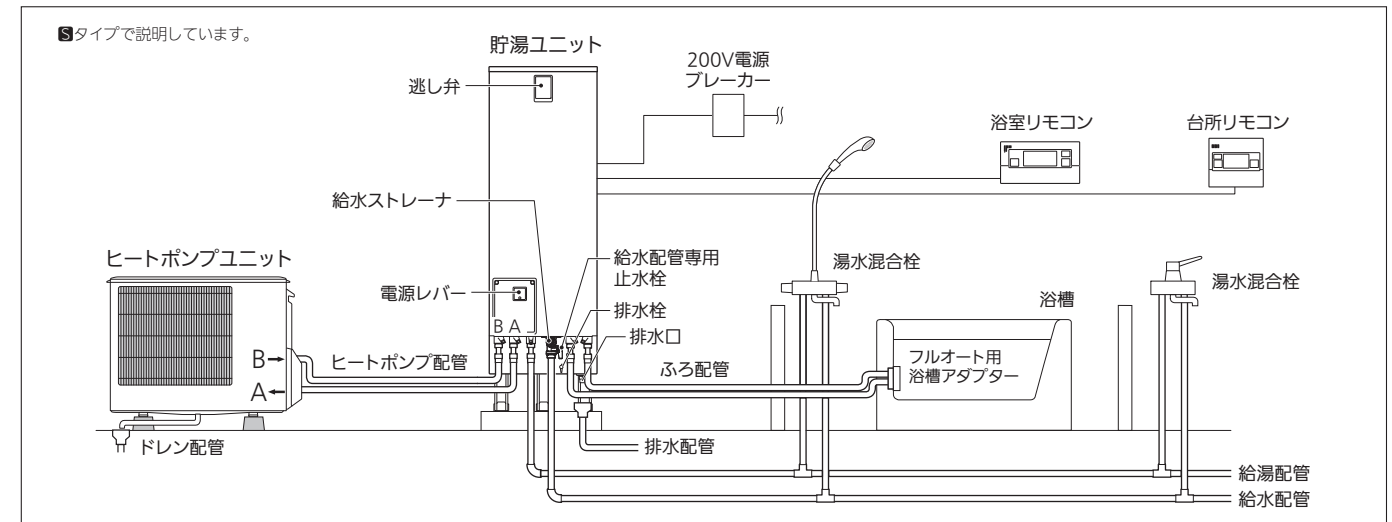
- 1 貯湯ユニットの電源ブレーカーを「切」にし、工사용窓を外す
- 2 各リモコンからのリモコン線をPF管(φ16)に通し、貯湯ユニットのリモコンケーブル口より引き込む
- 3 各リモコン線のリモコン側端子の芯線をリモコン接続端子に圧着する
- 4 ケーブル押えでリモコン線を固定する
- 5 パテでリモコンケーブル口をふさぐ

# 据付工事後の確認

- 試運転前に必ず裏面扉ページのチェックリストで正しく据え付けられているか確認してください。不具合があった場合は、必ず直してから、『試運転』を実施してください。

## 試運転

【お願い】●お客様立会いで試運転を実施してください。



### 給水の前に、給水配管内の砂やゴミを洗い流してください。

給水ストレーナを外し、給水配管専用止水栓を開いてください。排水はバケツ等で受けてください。給水配管内の砂やゴミが出なくなるまで実施ください。

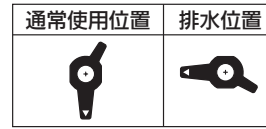
### <1>給水

		お願い事項等
<b>1</b>	湯水混合栓が閉じていることを確認し、逃し弁操作窓を開け、レバーを手前に起こす	<p>手前に起こす</p>
<b>2</b>	水源を開き、給水配管の水漏れがないか確認する	●水漏れがある場合は、給水を止めて、水漏れ箇所を修復してください。
<b>3</b>	給水配管専用止水栓を開き、水を入れる 工場出荷時、給水配管専用止水栓は閉じた状態です。	<p>閉 → 開く</p> <p>●給水中は排水口から少量の水が出ます。 ●通水確認後、すぐに使用しない場合は機器内の水を抜いてください。(31ページ参照) ●給水されない場合は、他の止水栓が閉じていないか確認してください。</p>
<b>4</b>	満水になったら、逃し弁のレバーを元に戻す 排水口から勢いよく水が出てきたら満水です。満水までの目安は10分です。	<p>戻す</p> <p>●水が出ない場合は、次の手順で電源を入れ直してください。 ①200V電源ブレーカーと漏電遮断器の電源レバーを「入」にする ②約30秒後、漏電遮断器の電源レバーと200V電源ブレーカーを「切」にする ●排水口から水が飛び散らない排水処理ができていないことを確認してください。また、排水口に配管を施工している場合は、接続部に漏れがないことを確認してください。 ●元に戻した後も排水口から水が出る場合は、レバーを数回、開閉してください。</p>
<b>5</b>	湯水混合栓をお湯側にして開き、水が出ることを確認する	●タンクが満水になるまでは湯水混合栓を開かないでください。
<b>6</b>	給水配管専用止水栓を閉じ、給水ストレーナ部のゴミつまりを点検する	<p>コインなどで左へまわす</p> <p>ゴミ詰まり確認 ●給水ストレーナ ●給水配管専用止水栓内部</p> <p>●終了後は、再び給水配管専用止水栓を開いてください。</p>

# 試運転(つづき)

## <2>電源を入れる

- 1 排水栓が通常使用位置(右図)になっていることを確認する



お願い事項等

- 通常使用位置になっていないと、正常にわき上げません。また、エラーが表示される場合があります。

- 2 200V電源ブレーカーと貯湯ユニットの漏電遮断器の電源レバーを「入」にする



お願い事項等

- 必ず、タンクを満水にしてから電源を入れてください。未満水通電による機器破損の修理は、保証の対象外です。
- 必ず、リモコン線を接続してから電源を入れてください。

- 3 通電後、漏電遮断器の動作確認をする  
テストボタンを押し「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。確認後は電源レバーを「入」に戻してください。

- 4 リモコンの確認をする  
①画面の表示を確認する  
給湯温度が50℃で表示されていることを確認してください。  
②音声ガイダンスを確認する  
給湯温度スイッチを押し、音声ガイダンスが流れるか確認してください。

お願い事項等

- 画面が表示されない場合は、リモコン線が正しく接続されていないことが考えられます。リモコン線の芯線接続部どうしが接触している場合は、接続部を修復してください。修復後にエラーコードが表示される場合は、34、35ページにしたがって処置してください。

## <3>機器のエア抜き、わき上げの確認

- 1 通電後、約1分間経過すると、自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転が始まります(約10分間、自動で停止)  
エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」と表示されます。エア抜きが終わると自動的にわき上げを開始します。自動でエア抜きが始まらない場合は、手動でエア抜きをしてください。  
<エア抜き方法(手動)>  
台所リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒押す

お願い事項等

- エア抜き運転中はヒートポンプユニットのファンは回りません。
- エア抜き運転中は試運転のみ可能です。ふる機能は操作できません。
- タンク未満水の場合は、製品保護のためエア抜き中に機器が停止することがあります。その場合、エア抜き終了までに30分程度かかることがあります。
- 水抜き栓操作時は異物の付着を確認し、付着している場合は取り除いてください。ヒートポンプユニットの水抜き栓に異物が付着している場合、水漏れの原因になります。

- 2 エア抜き運転終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分間、手前に起こす

お願い事項等

- タンクのエア抜き終了後、必ず、逃し弁のレバーを元に戻してください。

- 3 ヒートポンプユニットが正常にわき上げしていることを確認する  
<確認方法> ● 30分~1時間後に、残湯量表示が点滅する  
● 貯湯ユニット側のヒートポンプB配管が熱くなる

お願い事項等

- わき上げ中は水抜き栓を開かないでください。エラーを誤検知する可能性があります。
- ヒートポンプ配管へ正常に水が回っていない場合、次のエラーコードが表示されます。  
エラーコード:C03、C19、C20、C21、C30、120、P16、U19  
エラーコードが表示された場合は、34、35ページにしたがって処置してください。
- 初日の最大わき上げ温度は約90℃です。

### エラーコードが表示された場合

「C21」「U19」など、エラーコードが表示された場合は、34、35ページにしたがって処置してください。

## <4>初期設定と給湯温度設定

- 1 台所リモコンで以下の初期設定をする  
①日時設定 ②電力契約モード ③わき上げモード

- 2 シャワーや蛇口使用時の湯温を確認し、リモコンの給湯温度スイッチ(▲▼)で給湯温度を設定する

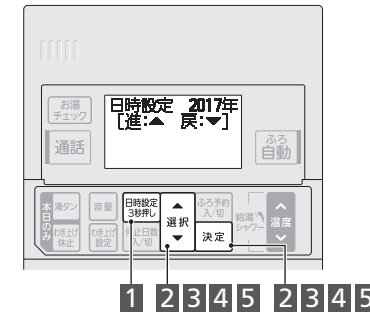
特に、他熱源の給湯機から買い替えた場合、給湯圧力の違いから、湯水混合栓の温度調節が必要になることがあります。詳細は湯水混合栓の取扱説明書をご確認ください。

- 3 リモコンの設定を記憶させるため、漏電遮断器の電源レバーを「切」にして「入」に戻す

お願い事項等

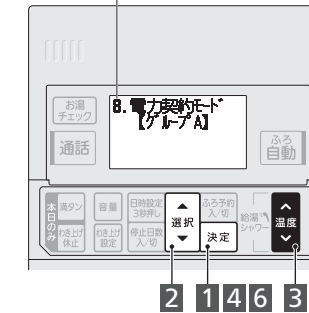
- サーモスタットタイプの湯水混合栓をご使用のとき給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。
- 湯温を確認する場合は、タンク内温度が設定温度以上であることを確認してください。(台所リモコンのスマート機能で確認できます。)
- 手順<2>電源を入れる(28ページ参照)で、漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてから3分間は「切」にしないでください。リモコンの設定が記憶されない場合があります。

### 日時設定



### 電力契約モード

機種により番号は異なります。



### わき上げモード



- 1 日時設定 3秒押し  
● 設定箇所が点滅します。
- 2 選択スイッチで「年」を合わせ  
決定 を押す  
● ▲…1つ進む ▼…1つ戻る (押し続けると連続して変更)
- 3 選択スイッチで「月」を合わせ  
決定 を押す
- 4 選択スイッチで「日」を合わせ  
決定 を押す
- 5 選択スイッチで「時刻」を合わせ  
決定 を押す  
● 年、月、日、時刻の設定後にガイダンスが表示されます。

- 1 決定 を3秒以上押す
- 2 選択スイッチ▲▼で「電力契約モード」を選ぶ  
● ▲…1つ進む ▼…1つ戻る
- 3 給湯温度スイッチでモードを決める  
● ▲…1つ進む ▼…1つ戻る
- 4 決定 を押す
- 5 給湯温度スイッチで設定値を決める  
● ▲…1つ進む ▼…1つ戻る
- 6 決定 を押す

- 1 わき上げ設定 を押す  
● 押すごとにモードが移動します。  
「おまかせ」→「少なめ」→「多め」

表1.グループAの内容(2016年3月時点)

対象電力会社	対象料金プラン	設定値
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ(A:夜間時間帯2時~6時)	EP08
	ドリーム8、ドリーム8エコ(B:夜間時間帯2時~7時)	EP09
	ドリーム8、ドリーム8エコ(C:夜間時間帯2時~8時)	EP10
	eタイム3	EP11
東北電力	やのくりナイト8	EP05
	やのくりナイト10	EP06
	やのくりナイト5	EP06
東京電力エナジーパートナー	電化上手	EP01
	おトクなナイト8	EP05
	おトクなナイト10	EP06
	エルフナイト10プラス	EP04
北陸電力	エルフナイト8	EP05
	エルフナイト10	EP06
	スマートeプラン	EP02
中部電力	タイムプラン	EP05
	はひeタイム	EP01
関西電力	はひeプラン	EP01
	時間別別電灯	EP05
中国電力	ファミリータイム	EP03
	エコノミーナイト	EP07
	スマートeプラン	EP02
四国電力	電化Deナイト	EP05
	電化Deナイト	EP04
九州電力	電化Deナイト	EP04
	時間別別電灯[8時間型]	EP05
	よかナイト10	EP06
沖縄電力	Eeらいふ	EP01
	時間別別電灯	EP05

表2.グループBの内容(2016年4月以降)

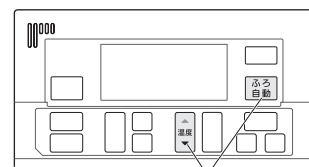
対象電力会社	対象料金プラン	設定値
北海道電力	時間別別電灯(ドリーム8)	NEP09
	ピーク抑制型時間別別電灯(ドリーム8エコ)	NEP10
	eタイム3	NEP11
	eタイム3[Sプラン]	
東北電力	eタイム3プラス	
	よりそう+ナイト10	NEP05
	よりそう+ナイト5	
	よりそう+ナイト8&タイム	NEP06
東京電力エナジーパートナー	よりそう+ナイト8	NEP09
	よりそう+サマーセーブ	
	よりそう+ナイト12	NEP12
	よりそう+ナイト&ホリデー	NEP13
北陸電力	スマートライフプラン	NEP01
	スマートライフS	
	スマートライフL	
	夜トク8	NEP09
中部電力	夜トク12	NEP12
	つつぎナイト12	NEP08
	スマートライフプラン	NEP03
	スマートライフプラン(夜とく)	NEP14
関西電力	スマートライフプラン(朝とく)	NEP15
	はひeタイム	NEP02
	eスマート10	NEP05
	季節別電灯PS	NEP09
中国電力	時間別別電灯	
	電化Styleコース	
	ナイトホリデーコース	NEP04
	スマートeプラン[タイプL+]	
四国電力	スマートeプラン[タイプH+]	NEP07
	でんかeプラン	
	電化でナイト・セレクト21	NEP16
	電化でナイト・セレクト22	NEP05
九州電力	電化でナイト・セレクト23	NEP17
	Eeらいふ	NEP02
	Eeホームホリデー	
	Eeホームフラット	NEP09
沖縄電力	時間別別電灯	
	時間別別電灯	

# 試運転(つづき)

## 〈5〉湯はり動作の確認

- 1** 浴室リモコンで湯はりをする(Sタイプのみ)  
 浴槽の栓をしてから、以下の方法で水(水温よりも少し高い温度の水)による「試運転湯はり」を開始します。  
 (湯はりが完了すると、音声またはブザー等でお知らせします。)

「ふろ温度」▼と「ふろ自動」スイッチを同時に押す



同時押し

パブルおそうじについて  
 試運転湯はりでは、浴槽水の排水時に自動洗浄ははたらきません。試運転湯はり完了後、次回からのふろ自動終了後の排水時にはたります。

- 2** 既設のふろ配管をご使用の場合は、循環洗浄を実施する(Sタイプのみ)

### エラーコードが表示された場合

「U29」など、エラーコードが表示された場合は、34、35ページにしたがって処置してください。

#### お願い事項等

- 浴槽の水を排水してから、湯はりをしてください。また、水栓から浴槽への湯はりはしないでください。
- 必ず湯はりを完了させてください。途中で止めると、水位を誤検出し、翌日以降の湯はりが正常にできない場合があります。
- 設置後1週間程度(湯はり回数6回)は、浴槽の形状を学習するため、湯はり時間が若干長くなります。
- 試運転時の設定湯量により、湯はり時間が異なります。(設定湯量が少なくても動作時間が長くなる場合もあります。)
- 浴槽の湯量(水位)を確認し、お客様ご希望の湯量に合わせてください。なお、設定湯量が少ないと自動洗浄がはたらきません。浴槽アダプターの中心から約10cm以上の水位となるよう湯量を調節してください。
- エラーコード「U29」が表示された場合は、ふろ配管の施工不良が考えられます。34、35ページにしたがって処置してください。

- 取扱説明書にしたがい、配管洗浄剤(BJ-070L)による循環洗浄を実施ください。

## 〈6〉施工後すぐにお客様へ引き渡さない場合(すぐには使用しない場合)

施工後や試運転完了後は、以下の手順で機器内の水を排水してください。  
 給湯機の電源を切るときは、機器内の水を抜いてください。水を抜かないと、凍結により機器が破損し水漏れすることがあります。ただし、厳寒期は排水中に凍結し、機器が破損する場合があります。外気温が0℃以上の環境で排水・水抜きをしてください。0℃未満の環境では満水状態で電源を入れたままにしておいてください。

- 1** 熱源ポンプのエア抜き運転をする  
 台所リモコン(給湯専用リモコン)の選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す



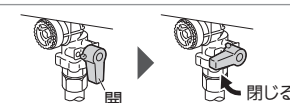
#### お願い事項等

- エア抜き運転中はリモコンに「エア抜き」が表示されます。

- 2** 約40秒エア抜きした後、エア抜き中に漏電遮断器の電源レバーを「切」にする



- 3** 給水配管専用止水栓を閉じる



- 4** 逃し弁のレバーを手前に起こす



- 5** 貯湯ユニットの排水栓を開く



- タンク内の水が抜けるまでに約30分かかります。
- 排水栓操作時に、音(キューツ)がする場合がありますが故障ではありません。

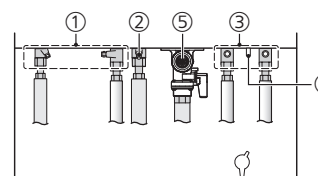
- 6** ヒートポンプユニット内の水を抜く

- ① B側水抜き栓を開く
- ② A側水抜き栓を開く



- 配管凍結のおそれがある場合は、凍結防止工事・保温工事(14、15ページ)を必ず実施ください。

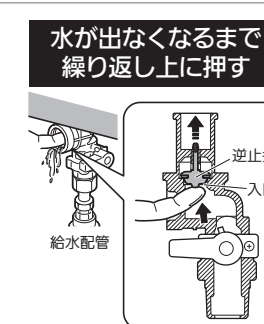
- 7** 貯湯ユニットの水抜き栓を開く



①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ふろ配管用水抜き栓 (Sタイプのみ)
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓 (Sタイプのみ)
⑤	給水ストレーナ

- 排水時はやけどに注意してください。給湯配管用水抜き栓とヒートポンプ配管用水抜き栓からは熱いお湯が出る場合があります。
- 水抜き栓から水が出なくなるまで開けてください。

- 8** 給水配管の水を抜く  
 給水ストレーナを外し、水が出なくなるまで繰り返し逆止弁を上を押してください。



- 指で逆止弁の入口をふさがないように押してください。ふさぐと水が抜けません。

- 9** 水抜き完了後、1時間程度放置してから、手順4~7で開いた水抜き栓、排水栓、逃し弁のレバーを戻す(閉じる)

- 排水栓は必ず通常使用位置にしてお渡しください。
- メンテナンス位置は、使用しないでください。

通常使用位置	排水位置	メンテナンス位置
閉じる	開く	閉じる



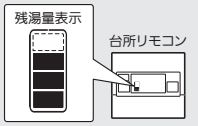
# お客様への説明

- 別冊の取扱説明書にしたがって、正しい使い方をご説明ください。特に「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。「お手入れと点検」の項目や「凍結防止」については、機器で具体的に説明してください。
- この据付工事説明書は、据付後お客様にお渡しください。なお、取扱説明書、保証書等も必ずお客様にお渡しください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー、ゼネコン)や管理人へご説明ください。
- 次の項目を必ず説明してください。

①お湯の使用状況によっては、翌朝に残湯量表示が満タンにならないことがあります。

**朝、リモコンの残湯量表示が満タンにならない**

不要なわき上げを防ぐため、タンク全量をわき上げない場合があります。「満タン」表示にしたい場合は「多め」に設定してください。



- ②タンクがコンパクトタイプのため、昼間でもわき上げします。
- ③お湯を連続して使ったり、台所・湯はり・シャワー等で同時に使用するとお湯が不足する場合があります。お湯が不足した場合は、しばらく(約20～40分)お待ちください。お湯が使えるように自動でお湯をわかします。  
※使用条件(外気温、給水温度)によって、わき上げ時間、使用できるお湯の量は異なります。
- ④残湯量が少なくなる(15L未満)と、報知音・アナウンスが鳴ります。
- ⑤お湯を密閉式タンクに貯める方式です。水道直圧式(石油)給湯機より、湯(シャワー)の勢いが多少弱くなる場合があります。
- ⑥リモコンの画面は、スイッチ操作や音声ガイダンスがない状態が続くと暗くなります。お湯を使ったり、スイッチを押すと点灯します。
- ⑦浴槽アダプターの清掃を定期的に行ってください。(Sタイプのみ)
- ⑧設置後すぐにわき上げを開始しますが異常ではありません。
- ⑨非常時には給湯機(非常用取水栓)からお湯を直接取り出して使うことができます。
- ⑩この給湯機は、通電制御型として電気料金の割引が適用されることがあります。※ 適用を受けるため、お客様ご自身で電力会社にご確認ください。買替時などで機種変更した場合も、電力会社へ申請が必要です。

※詳細は電力会社へお問い合わせください。

⑪点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。(取扱説明書の定期点検の項を参照ください。)

なお、消耗部品※は定期的に当社指定部品へ交換が必要です。(有料)

※減圧弁、逃し弁、混合弁、電磁弁、切替弁、ポンプ、パッキン、ホースなど

- ⑫リフォーム時や浴槽交換時には、必ず、試運転が必要となります。
- ⑬おふろの水位が変動する場合があります。取扱説明書の「故障かな」にしたがい処置をしてください。(Sタイプのみ)
- ⑭自動洗浄がはたらかない場合があります。取扱説明書の「故障かな」にしたがい処置をしてください。(Sタイプのみ)

# 仕様

家庭用ヒートポンプ給湯機は、2011年2月制定のJIS C 9220:2011“家庭用ヒートポンプ給湯機”に基づく性能表示から、2018年3月改正のJIS C 9220:2018に基づく性能表示になりました。運転音の表示が『音圧レベル』から『音響パワーレベル』に変わり、年間給湯保温効率の性能評価に『ふる熱回収機能』を含むものが追加されました。

## 仕様表(JIS C 9220:2018に基づく表示)

システム	SRT-S184(-BS)	SRT-S184D(-BS)	SRT-N184(-BS)	SRT-N184D(-BS)	SRT-SK184(-BS)	SRT-SK184D(-BS)	SRT-NK184(-BS)	SRT-NK184D(-BS)
定格電圧(周波数)	単相 200V(50-60Hz共用)							
最大電流	16A	16A	16A	16A	18A	18A	18A	18A
沸上げ温度範囲	約65℃～約90℃							
冬期高温沸上げ温度	90℃							
濯期高温沸上げ温度	90℃							
寒冷地冬期高温沸上げ温度	90℃							
年間給湯保温効率(JIS)※8	ふる熱回収なし 3.1	ふる熱回収なし 3.1	—	—	2.8	2.8	—	—
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)	ふる熱回収なし —	ふる熱回収なし —	—	—	2.5	2.5	—	—
年間給湯効率(JIS)※12	—	—	2.8	2.8	—	—	2.8	2.8
寒冷地年間給湯効率(JIS)	—	—	—	—	—	—	2.5	2.5
給水器具認証番号	W009-20020-100		W009-20020-057		W009-20020-100		W009-20020-057	
給水器具認証番号	SRT-S184	SRT-S184	SRT-N184	SRT-N184	SRT-S184	SRT-S184	SRT-N184	SRT-N184
種類	SRT-MU45804-S(-BS)				SRT-MUK60904-S(-BS)			
種類	屋外専用							
設置可能最低外気温	マイナス10℃							
寸法(高さ×幅×奥行) ※配管カバー寸法	715×800(+70)×285(+16)mm							
質量	42kg		41kg		48kg		45kg	
中間標準加熱能力/消費電力※2※3	4.5kW/0.97kW		4.5kW/1.01kW		6.0kW/1.33kW		4.5kW/0.97kW	
中間標準運転電流※3	5.1A		5.3A		7.5A		5.1A	
冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※4	4.5kW/1.50kW		4.5kW/1.50kW		6.0kW/2.00kW		4.5kW/1.50kW	
寒冷地冬期高温加熱能力※1※2※5	—		—		6.0kW		4.5kW	
最大加熱能力/最大消費電力※1※2※6	8.3kW/2.50kW		—		9.1kW/2.60kW		—	
運転音(音響パワーレベル)(中間期※3/冬期※4)※7	51dB/56dB		51dB/56dB		55dB/58dB		51dB/56dB	
冷媒名/封入量	CO <sub>2</sub> (R744)/0.75kg		CO <sub>2</sub> (R744)/0.68kg		CO <sub>2</sub> (R744)/1.05kg		CO <sub>2</sub> (R744)/0.75kg	
設計圧力	高圧:14.0MPa/低圧:8.5MPa							
システム	SRT-ST184(-BS)	SRT-ST184D(-BS)	SRT-NT184(-BS)	SRT-NT184D(-BS)	SRT-STK184(-BS)	SRT-STK184D(-BS)	SRT-NTK184(-BS)	SRT-NTK184D(-BS)
タンク容量	177L							
種類	屋外形	屋内形・屋外形	屋外形	屋内形・屋外形	屋外形	屋内形・屋外形	屋外形	屋内形・屋外形
設置可能最低外気温	マイナス10℃							
寸法(高さ×幅×奥行)	1830×430×630mm							
アスペクト比※11	4.3							
質量(満水時)	49kg(226kg)	49kg(226kg)	45kg(222kg)	45kg(222kg)	49kg(226kg)	49kg(226kg)	45kg(222kg)	45kg(222kg)
通常使用圧力(減圧弁圧力)/水側最高使用圧力(逃し弁圧力)	220kPa/260kPa							
風呂保温時消費電力(うち制御用消費電力)	0.114kW(0.005kW)		—(0.004kW)		0.114kW(0.005kW)		—(0.004kW)	
凍結防止ヒータ消費電力	0.036kW		—		0.048kW		0.036kW	

## 仕様表 別表(JIS C 9220:2011に基づく表示) 省エネルギー法に基づく区分名及び年間給湯保温効率/年間給湯効率と運転音(音圧レベル)

システム	SRT-S184(-BS)	SRT-S184D(-BS)	SRT-N184(-BS)	SRT-N184D(-BS)	SRT-SK184(-BS)	SRT-SK184D(-BS)	SRT-NK184(-BS)	SRT-NK184D(-BS)
年間給湯保温効率(JIS)※9	3.1	3.1	—	—	2.8	2.8	—	—
区分名	1	1	—	—	—	—	—	—
年間給湯効率(JIS)※9	—	—	2.8	2.8	—	—	2.8	2.8
区分名	—	—	34	34	—	—	—	—
寒冷地年間給湯保温効率(JIS)※9	—	—	—	—	2.5	2.5	—	—
区分名	—	—	—	—	5	5	—	—
寒冷地年間給湯効率(JIS)※9	—	—	—	—	—	—	2.5	2.5
区分名	—	—	—	—	—	—	36	36
運転音(音圧レベル)	38dB/43dB	38dB/43dB	38dB/43dB	38dB/43dB	42dB/45dB	42dB/45dB	38dB/43dB	38dB/43dB
ヒートポンプユニット(中間期※3/冬期※4)※10	—	—	—	—	—	—	—	—

- ※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
- ※2 沸上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
- ※3 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸上げ温度65℃
- ※4 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度90℃
- ※5 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/8℃、水温5℃、沸上げ温度90℃
- ※6 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度65℃
- ※7 運転音は、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲環境により異なります。

■騒音等防止を考えた据付けに関して  
『騒音等防止を考えた 家庭用ヒートポンプ給湯機の据付けガイドブック』を下記URLより無償ダウンロードできますので参照してください。  
一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページ [http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t\\_guide.html](http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html)

■2018年のJIS改正で運転音の測定方法が変更されました。  
従来の「音圧レベル(騒音レベル)」はJISで定められた1点で測定したものでしたが、今回採用された「音響パワーレベル」は周囲に発する全ての音響エネルギーを評価したものです。国際的な評価方法の統一を図るため、表示を開始しました。製品の運転音が大きくなった訳ではありません。詳しくは、一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページをご覧ください。 <https://www.jraia.or.jp>

※8 年間給湯保温効率(JIS)は、JIS C 9220iに基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。  
年間給湯保温効率(JIS)＝1年間で使用する給湯とふる保温に係る熱量÷1年間に必要な消費電力量

算出条件:沸上げモード「おまかせ」での標準期給湯モード性能試験時の沸上げ温度65℃、冬期給湯モード性能試験時の沸上げ温度65℃

※9 本表の年間給湯保温効率(JIS)及び年間給湯効率(JIS)は、JIS C 9220:2011に基づき算出したものです。

※10 運転音は、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなります。

※11 貯湯ユニットの幅または奥行きの小さい方に対する高さの比です。

※12 年間給湯効率(JIS)は、JIS C 9220の少数人給湯モードに基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力あたりの給湯熱量を表したものです。地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

年間給湯効率(JIS)＝1年間で使用する給湯に係る熱量÷1年間に必要な消費電力量

算出条件:沸上げモード「おまかせ」での標準期給湯モード性能試験時の沸上げ温度65℃、冬期給湯モード性能試験時の沸上げ温度65℃

注1 JIS C 9220:2018でのふる熱回収機能なしの年間給湯保温効率と、JIS C 9220:2011の年間給湯保温効率は同じです。

注2 夜間消費電力率(JIS C 9220 冬期給湯モード性能試験条件時):Sタイプ 25%、Nタイプ 55%

注3 給湯モード性能試験時の伊試機の運転設定方法は、貯湯ユニットの前面カバーを開け、前面カバー裏の結露線内でご確認ください。(必ず、電源ブレーカーを「切」にしてから前面カバーを開けてください。)

ただし、上記試験を行わない一般のお客さまは、前面カバーを開けないでください。

注4 適用電力制度、通電制御引対象については電力会社により異なります。詳細は電力会社にお問い合わせください。

# エラーコードと処置

エラーコードはリモコンの時計表示部に表示されます。エラーコードが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。

(1)貯湯ユニット関連 機種によってエラーコードの有無が異なります。エラーコードの解除方法は、(4)項を参照ください。

表示	内容	貯湯ユニット 該当コネクタ	処置	S	N			
00	給水温度高温異常	—	●給水口にお湯が供給されている → 正しく配管する	○	○			
19	ヒートポンプ配管循環不良	—	●35ページ(2)項の処置(A)実施後、エラーを解除(※3) → わき上げ30分~1時間後に貯湯ユニット側のヒートポンプB配管が熱くなることを確認	○	○			
U	29	ふろ配管施工不良	P43	下記、確認後、再度試運転湯はりを実施し正常にお湯はり完了することを確認 ※U29はふろ自動スイッチを押すことでエラーを解除できます。 ●ふろ配管の凍結・つぶれ・つまり・漏れを確認(行き、戻り)(解氷方法は15ページ参照) ●浴槽栓の閉め忘れの確認 ●湯はり設定量の確認(浴槽アダプターより下)→湯はり量を多くする ●当社別売部品の浴槽アダプターにする ●貯湯ユニットのコネクタ抜け ●循環洗浄(洗浄スイッチの長押し)が5分間継続しない → 循環配管のつぶれ・つまりを確認 ●既設のふろ配管を使用する場合は、試運転時に循環洗浄を実施	○	—		
F	06	水位センサ 短絡/断線	P43	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除 ●ふろ配管凍結 → 凍結防止工事実施(解氷方法は15ページ参照)	○	—		
	08	漏水検知(Dタイプのみ)	P45	●漏水箇所の処置をし、漏水センサ部の水抜き後、エラーを解除	○	○		
	01	リモコン通信異常	P1	●リモコン形名確認 → 機種(本体)に応じたリモコンに交換 ●貯湯ユニットに100V電源が供給されている → 200Vに変更	○	○		
	03	異機種リモコン接続	P1	●台所リモコンに表示 → リモコン形名確認 → 台所リモコン交換 ●浴室リモコンに表示 → リモコン形名確認 → 浴室リモコン交換	○	○		
H	10	ヒートポンプユニット・貯湯ユニット間通信異常 ユニット間の通信は、極性があります。	P11	下記の処置をしてからエラーを解除 ●電源通信線仕様(3芯式(単線)、φ2.0 VVF線)及び極性確認 ●電源通信線がユニット間に正しく接続されているかを確認 ●ケーブル接続/断線確認 ●コネクタ抜け確認(貯湯ユニット、ヒートポンプユニットのインバータ制御基板と端子台間の中継コネクタ) ●アース工事確認 ●機器のリセット(電源レバーを1分間「切」にし、再度「入」にして3分以上経過後に確認する) ●ユニットの組み合わせが正しくない → 正しい組み合わせにする	○	○		
	11	異機種ヒートポンプユニット接続	—	●ユニットの組み合わせが正しくない → 正しい組み合わせにする ●タンク容量設定が誤っている → 正しいタンク容量に設定する	○	○		
	00	01	11	ふろ用電動混合弁異常	P71	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除し、ふろ自動ON ●リモコン線接続部どうしの接触を確認 → 接触がある場合は接触修復後、電源を「入」にする(エラー表示がある場合はエラーを解除)	○	—
	01	20	21	給湯用電動混合弁異常	P72	●給水配管専用止水栓が閉じている → 給水配管専用止水栓を開いてからエラーを解除 ●コネクタ抜け確認後、エラーを解除し、蛇口を開く ●リモコン線接続部どうしの接触を確認 → 接触がある場合は接触修復後、電源を「入」にする(エラー表示がある場合はエラーを解除) ●給水配管の断水・凍結を確認(P21エラーの場合)(解氷方法は15ページ参照)	○	○
	02	循環フロースイッチ異常	P43	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除し、ふろ自動ON ●異物の確認	○	—		
	05	ふろ用流量センサ/ふろ用電磁弁異常	P31 P28	●コネクタ抜けを確認後、ふろ自動をONし、浴槽アダプター、ふろ配管の凍結・つぶれ・つまりを確認(解氷方法は17ページ参照)	○	—		
	16	ヒートポンプ配管逆接続	—	●ヒートポンプ配管のAとBが逆に接続 → 正しく接続(※1)し、エラーを解除 → わき上げ30分~1時間後に貯湯ユニット側のヒートポンプB配管が熱くなることを確認	○	○		
P	17	高温貯湯異常	—	下記の処置をしてからエラーを解除 ●漏電遮断器を「切」にする → 逃し弁を手前に起こし5分以上お湯を抜いた後、逃し弁レバーを戻す → 漏電遮断器を「入」にする	○	○		
	18	ふろ用熱交換器異常	P43	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除	○	—		
	24	25	入水切替弁異常	P75	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除 ●リモコン線接続部どうしの接触を確認 → 接触がある場合は接触修復後、電源を「入」にする(エラー表示がある場合はエラーを解除)	○	—	
	26	27	出湯切替弁異常	P76	●入水切替弁、出湯切替弁の凍結 → 凍結部をとくす(解氷方法は15ページ参照)	○	○	
	35	ふろ給湯用電磁弁閉止異常	P31	●電磁弁のゴミかみを確認後、エラーを解除 ●コネクタ抜け確認後、エラーを解除	○	—		
	36	熱源ポンプ異常	P37	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除 ●熱源ポンプの凍結 → 凍結部をとくす(解氷方法は15ページ参照) ●異物の確認	○	○		
	37	ふろ循環ポンプ異常	P38	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除 ●ふろ循環ポンプの凍結 → 凍結部をとくす(解氷方法は15ページ参照) ●異物の確認	○	—		

注1.コネクタ抜け確認時は、中継コネクタの抜けも確認してください。注2.処置中の「漏電遮断器」は貯湯ユニットの漏電遮断器を示します。

※1.逆に接続されていない場合は、下記処置後、エラーを解除してください。

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| ●ヒートポンプ配管のエア抜き不足 → エア抜きを実施                 | ●排水栓が「メンテナンス側」になっている → 通常使用位置に戻す |
| ●ヒートポンプ配管の水漏れ、つぶれ、つまり → 不具合箇所を修正・交換、つまりを除去 | ●貯湯ユニットへ給水されていない → 貯湯ユニットへ給水     |
| ●ヒートポンプ配管に止水栓(逆止弁付)などが付いている → 外す           | ●ヒートポンプ配管の凍結 → 凍結部をとくす           |

## リモコンのガイダンス表示

表示	貯湯ユニット 該当コネクタ	処置	S	N
「お風呂にお湯が残っています」 「お湯を抜いてから開始してください」	—	●浴槽水排水後、再度試運転を実施する ●ふろ配管の凍結・つぶれ・つまりを確認(行き・戻り)(解氷方法は15ページ参照)	○	—
「浴槽アダプタにゴミが詰まっていますか」 「お風呂の栓から漏れていませんか」 「お風呂の栓が抜けていませんか」 「ふろ湯量の設定は少なすぎませんか」	P43	下記、確認後、ふろ自動スイッチON ●ふろ配管の凍結・つぶれ・つまりを確認(行き、戻り) ●浴槽栓の閉め忘れや緩み、キズ、変形の確認、排水口のつまりを確認 ●湯はり設定量の確認(浴槽アダプターより下)→湯はり量を多くする ●貯湯ユニットのコネクタ抜け	○	—
「断水/配管凍結ではありませんか」 「取扱説明書に従い処置して下さい」	—	●断水または給水配管異常(つまり、凍結)を確認 ●給水配管専用止水栓が閉じている場合は開く ●給水配管のストレーナを確認	○	—

## (2)ヒートポンプユニット関連

表示	内容	処置
02	圧力センサ短絡/断線	●コネクタ抜け確認後、エラーを解除
03	高圧異常	●処置(A)を実施後、エラーを解除
12	EEPROM異常	●電源再投入し、エラーを解除
19	冷媒吐出温度異常	
20	わき上げ温度高温異常	●処置(A)を実施後、エラーを解除(※3)
21	わき上げ温度低温異常	
22	一次電流異常	
24	基板温度異常	●エラーを解除
25	異電源投入	
26	インバータ異常	
30	入水温度高温異常	●処置(A)を実施後、エラーを解除

### 処置(A)

- 貯湯ユニットの排水栓が「メンテナンス側」になっている → 通常使用位置に戻す
- 貯湯ユニットの給水配管専用止水栓が閉じている → 開く
- ヒートポンプ配管のエア抜き不足 → エア抜きを実施
- ヒートポンプ配管の水漏れ、つぶれ、つまり → 不具合箇所を修正・交換、つまりを除去
- ヒートポンプ配管の凍結 → 凍結部をとくす(解氷方法は15ページ参照)
- 貯湯ユニットへ給水されていない → 貯湯ユニットへ給水
- 膨張弁(LEV)のコネクタ抜け確認、コイル抜け確認 → コネクタ挿入、コイル挿入
- ヒートポンプ配管のAとBが逆に接続 → 正しく接続
- 熱源ポンプの凍結 → 凍結部をとくす(解氷方法は15ページ参照)

### ※3.エラーコード「U19」「C20」「C21」発生時の処置

- ①処置(A)を実施後、エラーを解除
  - ②ヒートポンプ配管のエア抜きを実施  
実施しない場合、再び「U19」「C20」「C21」エラーが発生することがあります。  
エアを抜くときは、やけどに注意してください。
- 〈エア抜き手順〉台所リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す

## (3)サーミスタ関連(EエラーとCエラーの一部)

以下のエラーコードが表示された場合は、コネクタ抜けを確認後、エラーを解除してください。

### ①貯湯ユニット

表示	サーミスタ名	貯湯ユニット 該当コネクタ	S	N
06	給湯温度サーミスタ	P28	○	○
07	ふろ戻り温度サーミスタ	P53	○	—
08	ふろ行き温度サーミスタ	P52	○	—
13	残湯[0L]サーミスタ	P50	○	○
16	給水温度サーミスタ	P76	○	○
17	ふろ行き/戻り温度サーミスタ	P52、P53	○	—
20	残湯[15L]サーミスタ	P50	○	○
21	残湯[50L]サーミスタ	P50	○	○
22	残湯[100L]サーミスタ	P50	○	○
23	残湯[150L]サーミスタ	P51	○	○

### ②ヒートポンプユニット

表示	サーミスタ名	ヒートポンプユニット 該当コネクタ	コネクタ色
05	入水温度サーミスタ		
06	出湯温度サーミスタ	CN664	赤
07	霜取温度サーミスタ		
11	吐出温度サーミスタ	CN641	白
09	外気温度サーミスタ	CN643	赤

## (4)エラーの解除(リセット)方法

すべてのエラーは、台所リモコンのエラー強制解除により、解除できます。

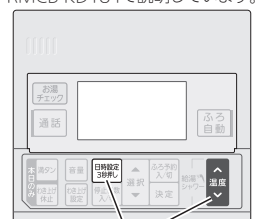
〈解除方法〉台所リモコンの「日時設定スイッチ」と「給湯温度」スイッチを3秒以上同時に押す。

〈解除内容〉エラーを強制的に解除します。  
異常内容によっては、強制解除後、再びエラーが表示されます。

※貯湯ユニット制御基板のリセットスイッチ(SW4)5秒押しでもエラーは解除できます。

必ず漏電遮断器の電源レバーを「切」にしてから実施してください。

RMCB-KD184で説明しています。



3秒以上同時に押す

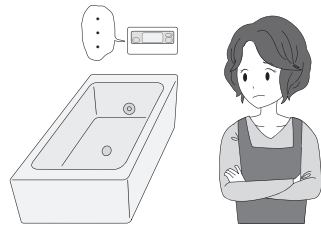
# 試運転後の確認

試運転後の確認をしないと、次の不具合が出ることがあります。必ず実施ください。  
未実施による不具合は、製品保証※の対象外です。 ※修理費用(技術料+部品代+出張料)が必要です。



- 扉ページを開いて試運転後の確認をしてください。
- 試運転前に、必ずチェックリストの項目を確認してください。

## 湯はりができない (Sタイプのみ)



試運転湯はりで湯はり完了音を確認

試運転湯はり      完了音確認



### エラー表示が出る場合

U19、P16

ヒートポンプ配管のつぶれや詰まり、凍結、排水栓位置、止水栓が閉じていないかを確認  
→エラーを解除し、わき上げ実施

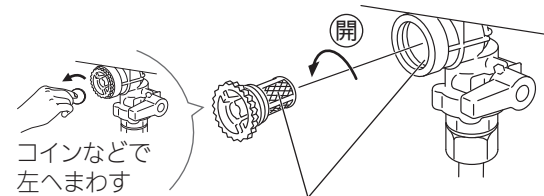
U29、P05

ふろ配管のつぶれや詰まり、凍結を確認  
→ふろ自動スイッチを押し、湯はり実施

チェック

## お湯から異物が出る 異臭がする

- 異物の混入を確認するため、試運転を必ず実施してください。(27~31ページ参照)
- エラーコード「U29」が表示された場合は、34、35ページにしたがって処置してください。
- お湯から異物が出る、お湯が臭う場合は、配管内を洗浄し、タンク内のお湯を入れ替えてください。
- お湯から異物が出る場合は、給水ストレーナ部にゴミが詰まっていないか確認してください。(27ページ参照)



ゴミ詰まり確認

- 給水ストレーナ
- 給水配管専用止水栓内部

### 既設の配管をご使用の場合

配管が劣化している可能性があります。  
配管の入れ替えをご検討ください。

チェック

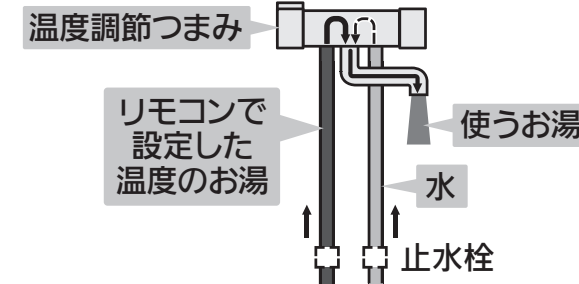
## 蛇口、シャワーのお湯がぬるい



### すべての湯水混合栓で お湯の温度を確認

#### ぬるい湯水混合栓がある場合

温度調節つまみや、止水栓を調整



次の場合、圧力の低い給湯配管へ水が回り込み、お湯がぬるくなる  
ことがあります。

- 湯水混合栓の湯側逆止弁が故障している場合
- 逆止弁が無く、シャワーヘッド等で先止めしている場合

チェック

## 凍結で部品が 壊れて水が漏れる



すぐに製品を使用しない時で、  
作業中の外気温が0℃以上の場合

### エア抜き運転中に電源を 切り、水抜きを実施

#### 外気温 0℃未満の場合

満水で電源を入れたままにし、  
水は抜かない  
(水抜き中に凍結するおそれがあります。)  
※必ず外部配管の凍結防止工事をしてください。

チェック

製品の仕様・施工に関するお問い合わせは

## 三菱給湯機テクニカルセンター

修理作業やサービス部品については、最寄りの修理受付部門へお問い合わせください。

全国どこからでもおかけいただけるフリーダイヤル

フリーダイヤル  
**0120-24-4126** (通話料金無料)

〈受付時間〉

9:30~12:00/13:00~17:00(土日祝祭日、当社休業日除く)

携帯電話・PHS・IP電話の場合      0276-40-7191(有料)

## お客様、工事店様サイン欄

注.貯湯ユニットに記載の形名、製造番号を記入してください。

形名		工事店様	配管施工	〈店名〉 ----- 〈電話番号〉 -----
製造番号			電気施工	〈店名〉 ----- 〈電話番号〉 -----
据付年月日		お客様	引渡し	〈店名〉 ----- 〈電話番号〉 -----
お客様				

## 三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

# チェックリスト **試運転前に必ず実施**

据付工事後は、下表にあげたチェック項目を確認してください。不具合があった場合は、必ず直してから、『試運転』を実施してください。機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません。火災や感電(2ページ参照)その他の原因になります。

※このチェックリストは本紙の各項目に対応しています。チェックリストで確認しながら本紙をお読みいただけます。

- ①ヒートポンプユニットの据え付けに簡易基礎または、架台を使用していますか。
- ②積雪対策をしていますか。(積雪地域のみ)
- ③貯湯ユニットの満水時質量に十分耐える基礎工事をしていますか。
- ④貯湯ユニットの各脚をアンカーボルトで固定していますか。全脚にT型座金を使用していますか。
- ⑤貯湯ユニットを上部振れ止め金具(1個)で固定していますか。(2階以上に据え付ける場合)
- ⑥機器のメンテナンススペースは確保されていますか。
- ⑦設置面は防水、排水処理工事をしていますか。
- ⑧可燃性ガスや引火物は近くにありませんか。(ガスボンベからは2m以上離す)
- ⑨機器に傷や変形はありませんか。

- ①給水は水道水ですか。
- ②各配管を配管制約(12、13ページ参照)のとおりを選定しましたか。
- ③各配管に適切な凍結防止工事、保温工事をしましたか。
- ④浴槽アダプターは当社別売部品を使用していますか。(Sタイプのみ)
- ⑤排水ホッパーを設置しましたか。もしくは、設置してあることを確認しましたか。
- ⑥排水口は排水ホッパーの中心に合っており、間隔は50mm以上空いていますか。
- ⑦排水配管に排水トラップを設置しましたか。
- ⑧貯湯ユニットのドレンホースを排水ホッパーに導いていますか。
- ⑨ヒートポンプユニットからのドレン水は、正しく処理されていますか。
- ⑩階下給湯の場合、貯湯ユニットの天面から蛇口までは5m以内ですか。

- ①電源は单相200Vですか。
- ②ブレーカーの定格、電源線の太さは適切ですか。
- ③アース工事(D種接地工事)を貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの双方にしていますか。
- ④給湯機に対応したリモコンを使用していますか。また、リモコンの組み合わせは合っていますか。
- ⑤電源線、リモコン線を正しく接続していますか。また、電源線、リモコン線どうしの接触はありませんか。(22、26ページ参照)
- ⑥電源線の締付けは十分ですか。(締付基準トルク:1.5~2.0N・m) ゆるんでいたり、ななめに差したりしていませんか。
- ⑦リモコン線を確実に圧着(接続)しましたか。(引張強度35.6N以上)
- ⑧配線はケーブル押さえで固定していますか。
- ⑨パテで電源ケーブル口、リモコンケーブル口をふさぎましたか。
- ⑩工事終了後、工事用窓(22ページ参照)は閉じましたか。

試運転後は、下表にあげたチェック項目を確認してください。不具合があった場合は、必ず直してから、『試運転(27~31ページ参照)』を再度実施してください。試運転未実施による機器破損や不具合にともなう修理は、保証の対象外です。

- ①排水時に、排水ホッパーから排水があふれることはないですか。
- ②湯水混合栓からの流量は十分ですか。エア混じりではないですか。
- ③水道直圧式のガス(石油)給湯機より、湯(シャワー)の勢いが多少弱くなる場合があることをお客様に説明しましたか。
- ④各配管の水漏れ、つぶれ、つまりはありませんか。
- ⑤ヒートポンプユニットの水抜き栓に異物の詰まりはありませんか。閉め忘れはありませんか。
- ⑥電力契約モードを正しく設定しましたか。
- ⑦試運転を実施し、異常なく完了しましたか。(途中で解除しないでください。)
- ⑧浴槽アダプターのフィルターの網目について汚れを取り除きましたか。(Sタイプのみ)
- ⑨施工後すぐに使用しない場合、機器内の水抜きをしましたか。
- ⑩お客様に機器の取扱いについて説明しましたか。取扱説明書、据付工事説明書、保証書を渡しましたか。

**チェック終了後本書をお客様へお渡しください。**